

令和7年度調布市民福祉ニーズ調査
アンケート調査結果報告書
(速報版)

令和7年12月

調布市

目次

第1章 調査概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の実施概要	1
第2章 市民（18歳以上）調査結果	2
1 あなた（ご本人）についておたずねします（回答者の属性）	2
2 日頃のコミュニケーションについておたずねします	3
3 市民同士の支え合い，地域活動についておたずねします	4
4 暮らしのことについておたずねします	5
5 市民の権利を守る取組についておたずねします	8
6 誰もが暮らしやすいまちづくりについておたずねします	9
第3章 高齢者（65歳以上）調査結果	12
1 あなた（ご本人）についておたずねします（回答者の属性）	12
2 日頃のコミュニケーションについておたずねします	13
3 市民同士の支え合い，地域活動についておたずねします	14
4 就労についておたずねします	15
5 健康増進，権利擁護の取組についておたずねします	16
6 暮らしのことについておたずねします	17
7 誰もが暮らしやすいまちづくりについておたずねします	19
第4章 障害者（18歳以上）調査結果	21
1 あなた（ご本人）についておたずねします	22
2 相談支援についておたずねします	23
3 日頃のコミュニケーションについておたずねします	24
4 災害時の対策についておたずねします	24
5 暮らしについておたずねします	25
6 誰もが暮らしやすいまちづくりについておたずねします	28
7 デジタルの活用についておたずねします	29
8 調布市の障害者福祉施策についておたずねします	30
9 ご家族におたずねします（ひとり暮らしやグループホームなどの人は回答不要）	32
第5章 障害児（18歳未満）の保護者調査結果	33
1 保護者（調査に回答していただく人）についておたずねします	33
2 保護者の方に，あて名のお子さんについておたずねします	34
3 保護者の方に，相談支援についておたずねします	37
4 保護者の方に，市民同士の支え合いについておたずねします	38
5 保護者の方に，災害時の対策についておたずねします	39
6 保護者の方に，誰もが暮らしやすいまちづくりについておたずねします	39
7 保護者の方に，デジタルの活用についておたずねします	40
8 保護者の方に，調布市の障害者福祉施策についておたずねします	41

第1章 調査概要

1 調査の目的

本調査は、国や調布市の動向を踏まえ、アンケート調査により市民の生活実態や福祉に対する意識、意見、ニーズ等を把握し、次期「調布市地域福祉計画」「調布市高齢者総合計画」「調布市障害者総合計画」を策定する際の基礎資料等とすることを目的とする。

2 調査の実施概要

(1) 調査方法

- 調査票の郵送配付
- 調査票による郵送回答／専用ウェブサイトからのインターネット回答（回答者が選択）
- 督促礼状を対象者全員に1回送付

(2) 調査期間

令和7年10月20日（月）～ 令和7年11月4日（火）

(3) 調査の対象者・人数・回答数

対象	配付数	回答数	回答率	(参考)
		(うち、インターネット)		令和4年
18歳以上の市民（市内在住）	2,000人	924人 (433)	46.2% (21.7)	40.8% (10.7)
65歳以上の市民（市内在住）	1,000人	633人 (89)	63.3% (8.9)	60.2% (3.6)
18歳以上の障害者手帳や特定医療費（指定難病）受給者証所持者	2,700人	1,408人 (449)	52.1% (16.6)	54.5% (8.6)
①身体障害者手帳所持者（64歳以下）	400人	238人 (91)	59.5% (22.5)	53.3% (13.8)
②身体障害者手帳所持者（65歳以上）	400人	190人 (30)	47.5% (7.5)	59.3% (2.0)
③愛の手帳所持者	500人	240人 (56)	48.0% (11.2)	60.7% (4.7)
④精神障害者保健福祉手帳所持者	800人	392人 (151)	49.0% (18.9)	44.3% (12.3)
⑤難病患者	600人	348人 (121)	58.0% (20.2)	57.3% (9.7)
18歳未満の障害者手帳や児童福祉通所受給者証所持者の保護者	300人	185人 (118)	61.7% (39.3)	65.0% (20.0)
合計	6,000人	3,150人 (1,089)	52.5% (18.2)	52.2% (8.0)

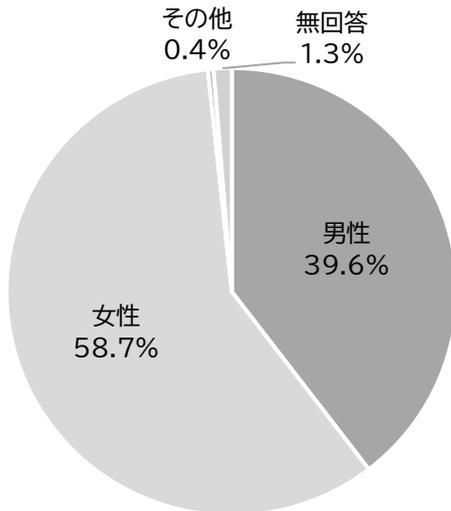
第2章 市民（18歳以上）調査結果

【調査名】誰もが暮らしやすいまちづくりのための福祉に関するアンケート調査

1 あなた（ご本人）についておたずねします（回答者の属性）

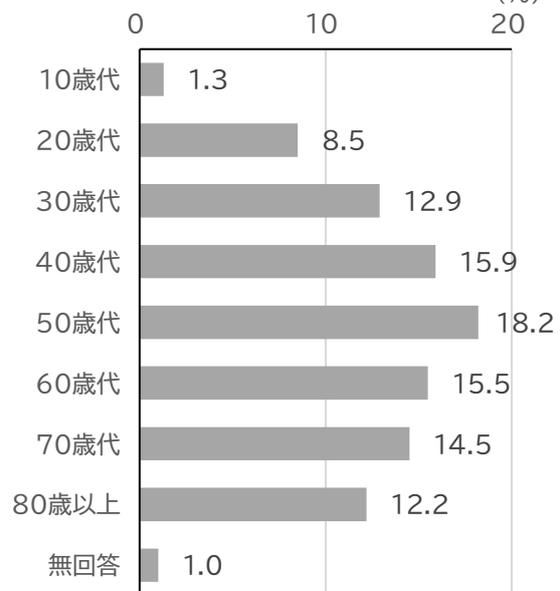
問1 性別

回答者：924〔単数回答〕



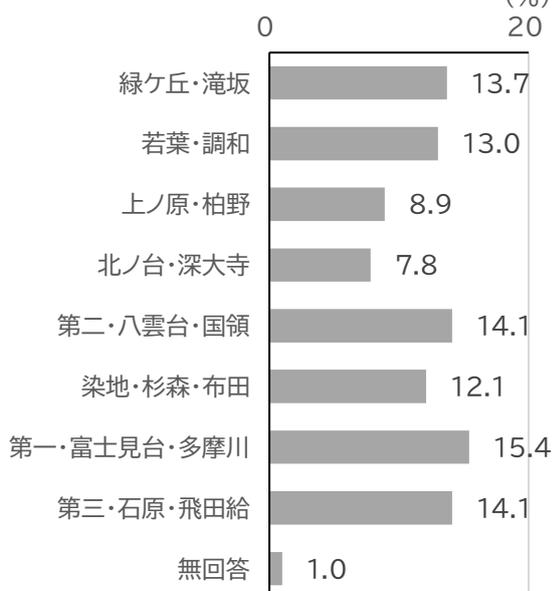
問2 年齢(令和7年10月1日時点)

回答者：924〔単数回答〕



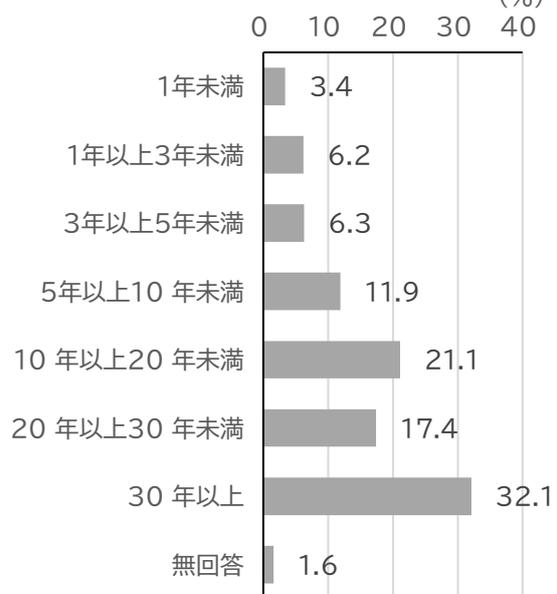
問3 居住地域

回答者：924〔単数回答〕



問4 居住年数

回答者：924〔単数回答〕

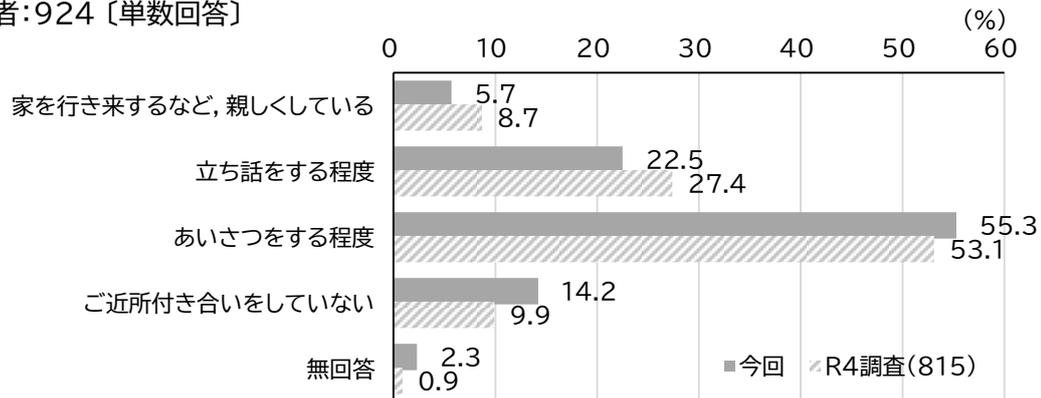


2 日頃のコミュニケーションについておたずねします

問8 ご近所付き合いは、どの程度していますか。（主なもの1つに○）

- 近所付き合いの状況は、「あいさつをする程度（55.3%）」が最も多く、「立ち話をする程度（22.5%）」が続いている。
- 令和4年調査と比較すると、『親密な近所付き合いをしている』（「家を行き来するなど、親しくしている」と「立ち話をする程度」の合計）割合は7.9ポイント減少しています。

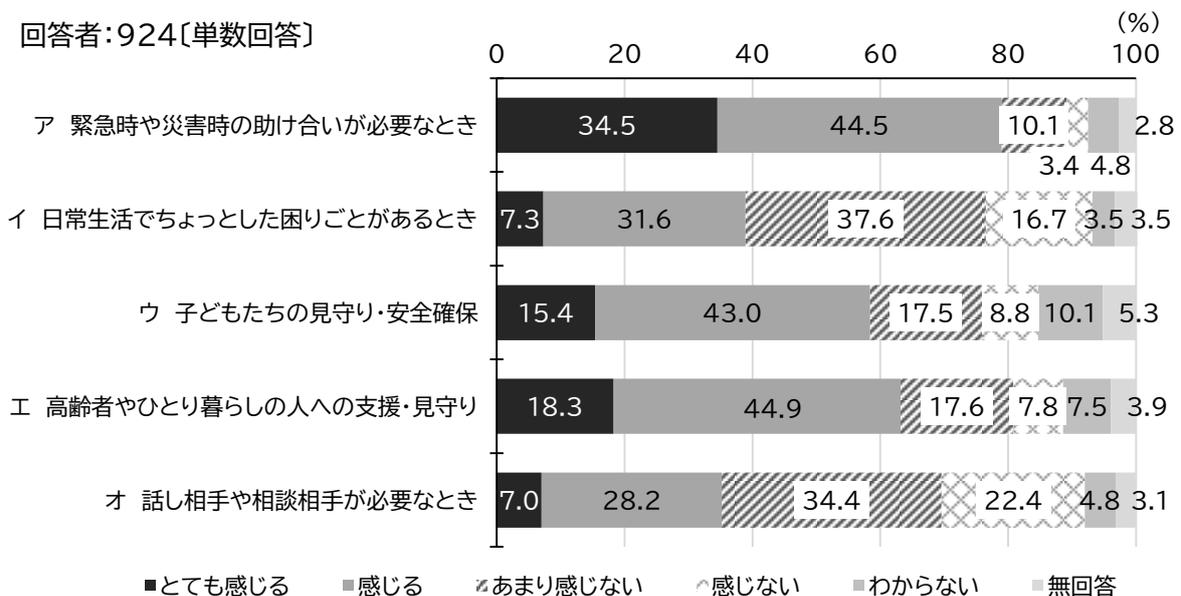
回答者:924〔単数回答〕



問9 どのような時にご近所付き合いの必要性を感じますか。（それぞれ1つに○）

- 近所付き合いの必要性（「とても感じる」と「感じる」の合計）は、「緊急時や災害時の助け合いが必要なとき（79.0%）」が最も多く、「高齢者やひとり暮らしの人への支援・見守り（63.2%）」が続いている。
- 一方、必要性を感じないもの（「あまり感じない」と「感じない」の合計）は、「話し相手や相談相手が必要なとき（56.8%）」が最も多く、「日常生活でちょっとした困りごとがあるとき（54.3%）」が続いている。

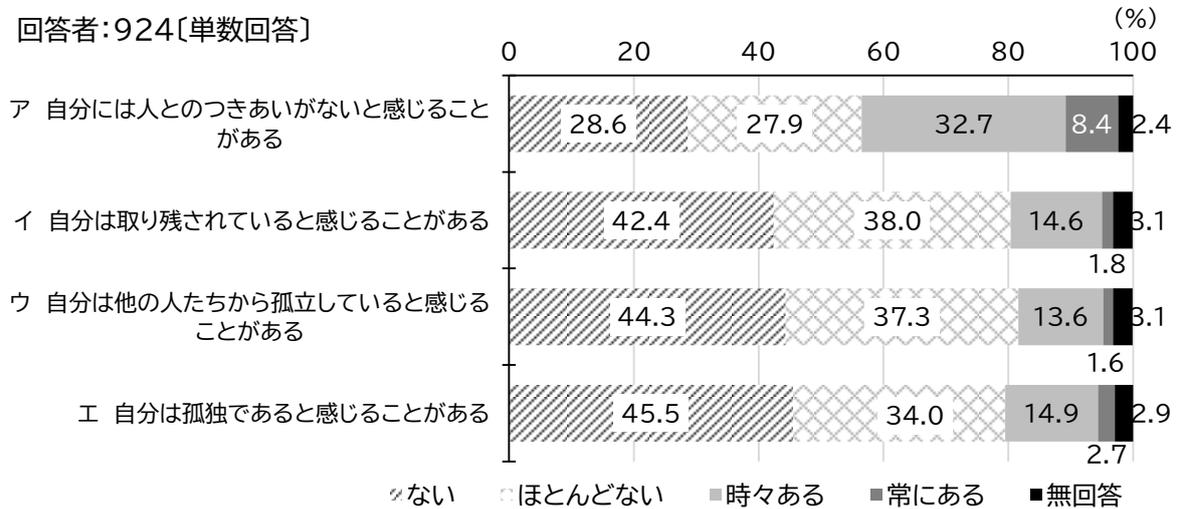
回答者:924〔単数回答〕



問 10 次の項目についてあなたはどれくらいの頻度で感じていますか。（それぞれ1つに○）

○ 孤独・孤立を感じること（「時々ある」と「常にある」の合計）は、「自分には人とのつきあいが無いと感じることがある（41.1%）」が最も多く、その他の項目は1割半ばとなっている。

回答者:924〔単数回答〕

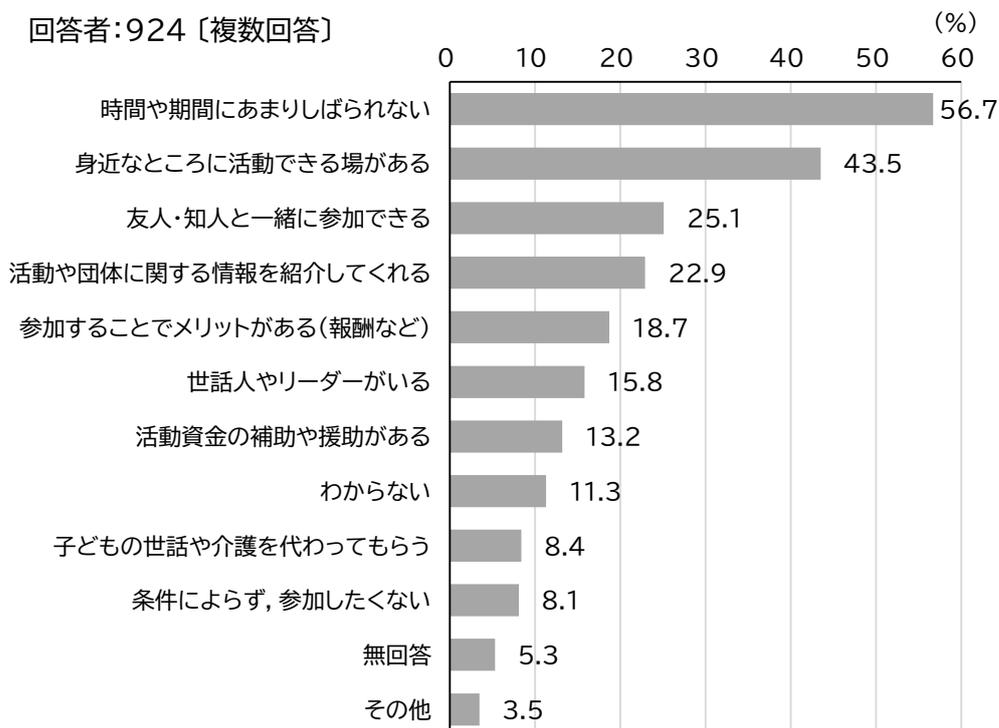


3 市民同士の支え合い、地域活動についておたずねします

問 15 どのような条件であれば、地域活動・ボランティア活動に参加・活動しやすいですか。（いくつでも○）

○ 地域活動・ボランティア活動に参加しやすい条件は、「時間や期間にあまりしぼられない（56.7%）」が最も多く、「身近なところに活動できる場がある（43.5%）」、「友人・知人と一緒に参加できる（25.1%）」が続いている。「条件によらず、参加したくない」は8.1%である。

回答者:924〔複数回答〕

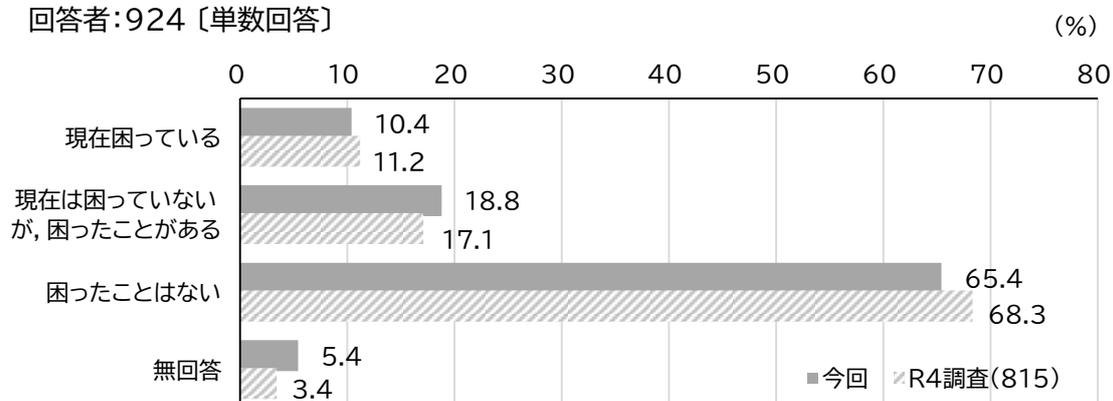


4 暮らしのことについておたずねします

問16 これまでに経済的に困った経験がありますか。(1つに○)

- 経済的な理由で困った経験は、「現在困っている(10.4%)」、「現在は困っていないが、困ったことがある(18.8%)」であり、それを合計した『経済的な理由で困ったことがある』は29.2%である。

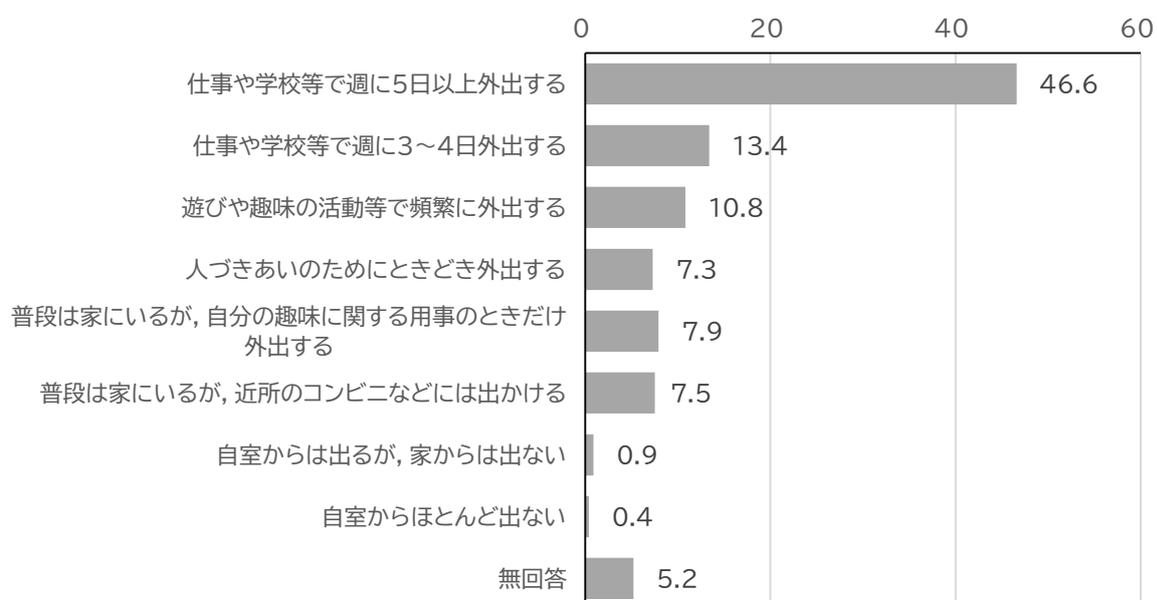
回答者:924〔単数回答〕



問17 あなたは普段、どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。(1つに○)

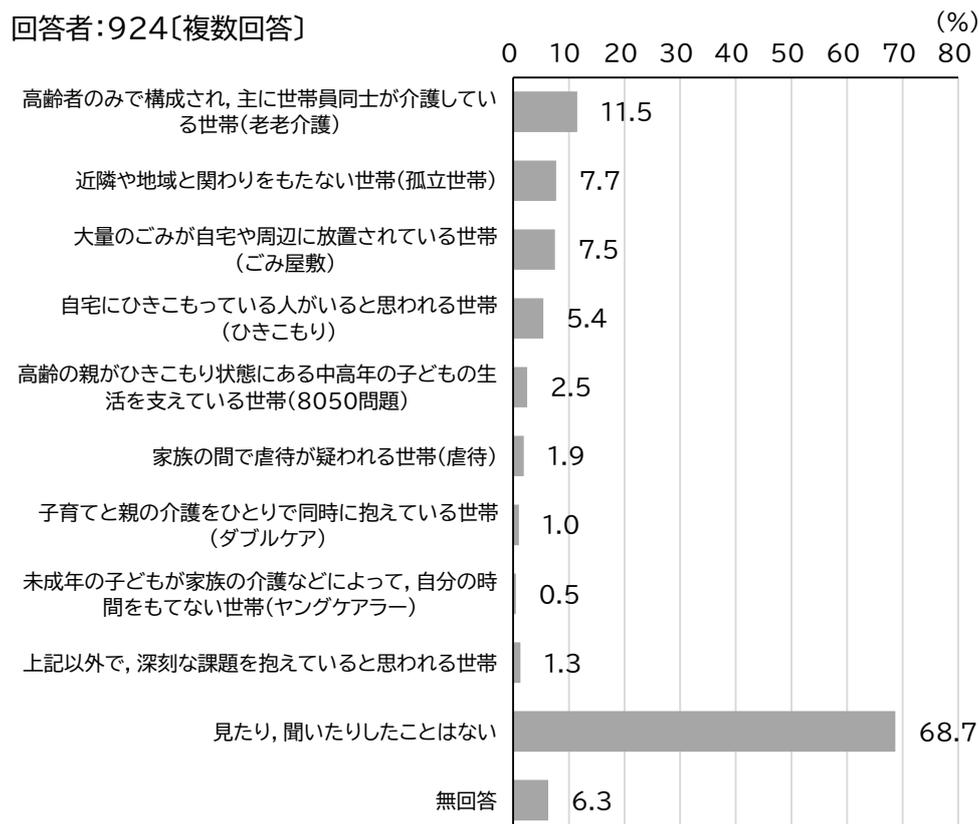
- 外出状況は、「仕事や学校等で週に5日以上外出する(46.6%)」が最も多く、「仕事や学校等で週に3~4日外出する(13.4%)」、「遊びや趣味の活動等で頻繁に外出する(10.8%)」が続いている。

回答者:924〔単数回答〕



問 19 あなたの地域で次のような世帯を見たり、聞いたりしたことがありますか。(いくつでも○)

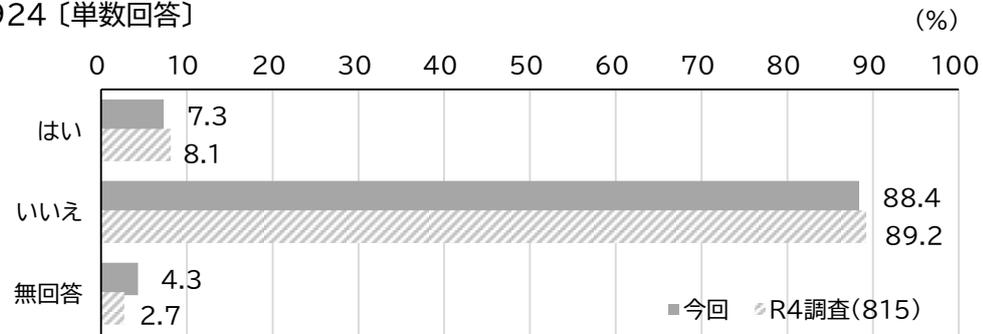
- 複雑な課題を抱えた世帯の見聞状況は、「見たり、聞いたりしたことはない(68.7%)」が最も多い。
- 見聞したことのある世帯をみると、「高齢者のみで構成され、主に世帯員同士が介護している世帯(老老介護)(11.5%)」, 「近隣や地域と関わりをもたない世帯(孤立世帯)(7.7%)」, 「大量のごみが自宅や周辺に放置されている世帯(ごみ屋敷)(7.5%)」が続いている。



問21 現在、あなた自身やご家族は、どこに相談すればいいかわからない生活上の困りごとを抱えていますか。(1つに○)

- どこに相談すればいいかわからない生活上の困りごとを抱えてるかは、「はい (7.3%)」、「いいえ (88.4%)」である。

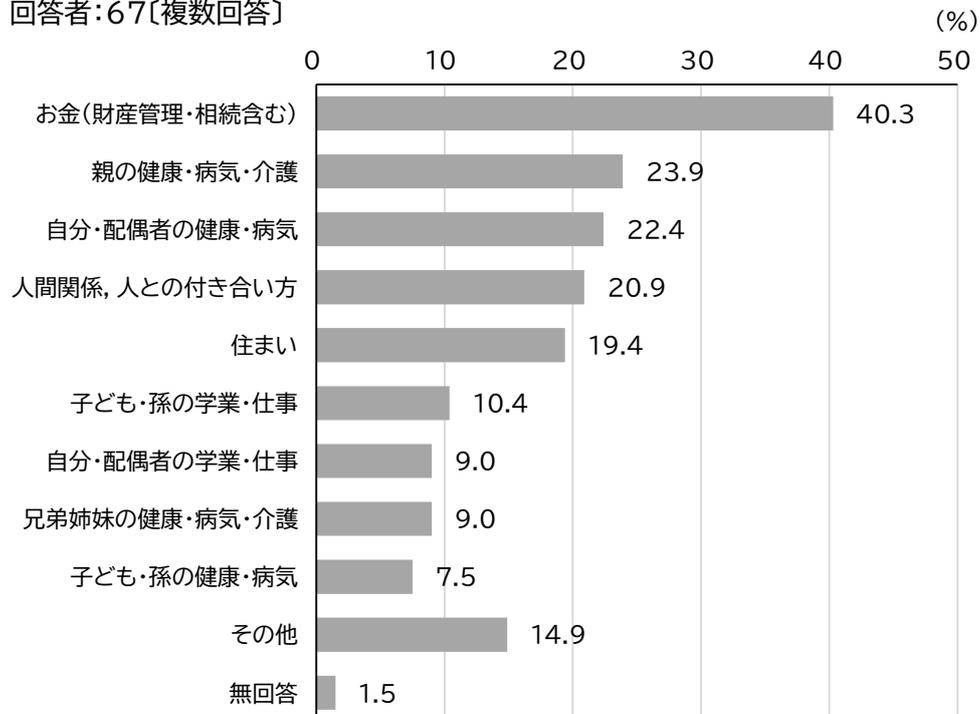
回答者:924 [単数回答]



付問 問21で「1はい」と答えた方におたずねします。差し支えなければ、お困りの内容をお聞かせください。(いくつでも○)

- どこに相談すればいいかわからない生活上の困りごとを抱えてるかについて、「はい」と答えた人に、困りごとの内容についてたずねたところ、「お金(財産管理・相続含む) (40.3%)」が最も多く、「親の健康・病気・介護 (23.9%)」、「自分・配偶者の健康・病気 (22.4%)」が続いている。

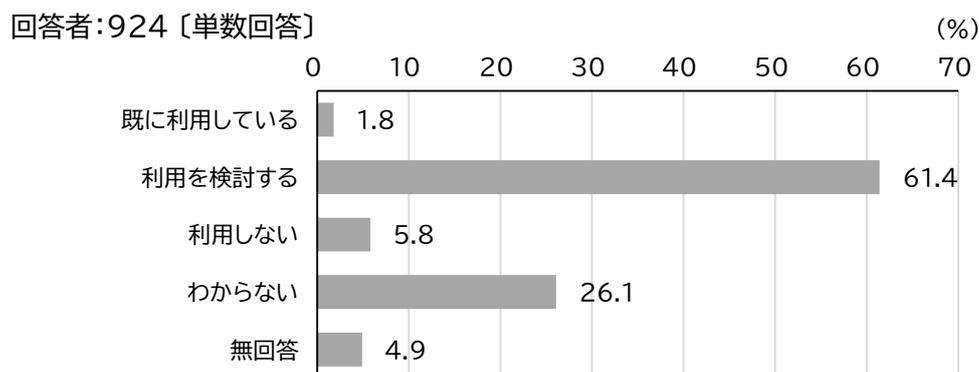
回答者:67 [複数回答]



5 市民の権利を守る取組についておたずねします

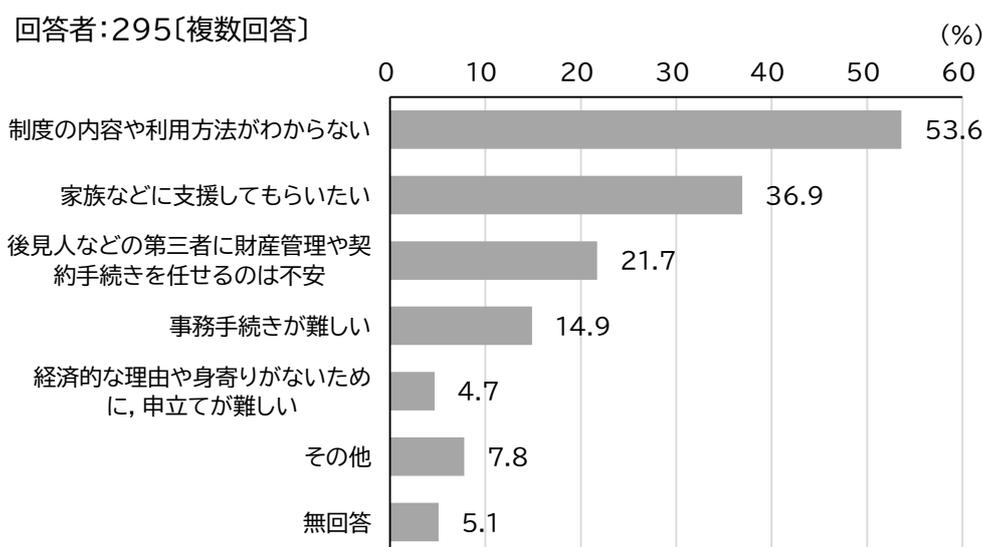
問 24 あなたやご家族のどなたかが認知症などによって判断が十分にできなくなる場合に備えて、あるいは既にできない場合、権利擁護に関するいずれかの制度や事業を利用したいと思いますか。(1つに○)

- 権利擁護事業の利用状況・意向は、「利用を検討する(61.4%)」が最も多く、「わからない(26.1%)」,「利用しない(5.8%)」が続いている。



付問 問 24 で「3 利用しない」,「4 わからない」と答えた方におたずねします。制度を利用しない,または,わからないと答えた主な理由は何ですか。(いくつでも○)

- 権利擁護事業を利用しないまたは利用するかわからない理由は、「制度の内容や利用方法がわからない(53.6%)」が最も多く、「家族などに支援してもらいたい(36.9%)」,「後見人などの第三者に財産管理や契約手続きを任せるのは不安(21.7%)」が続いている。

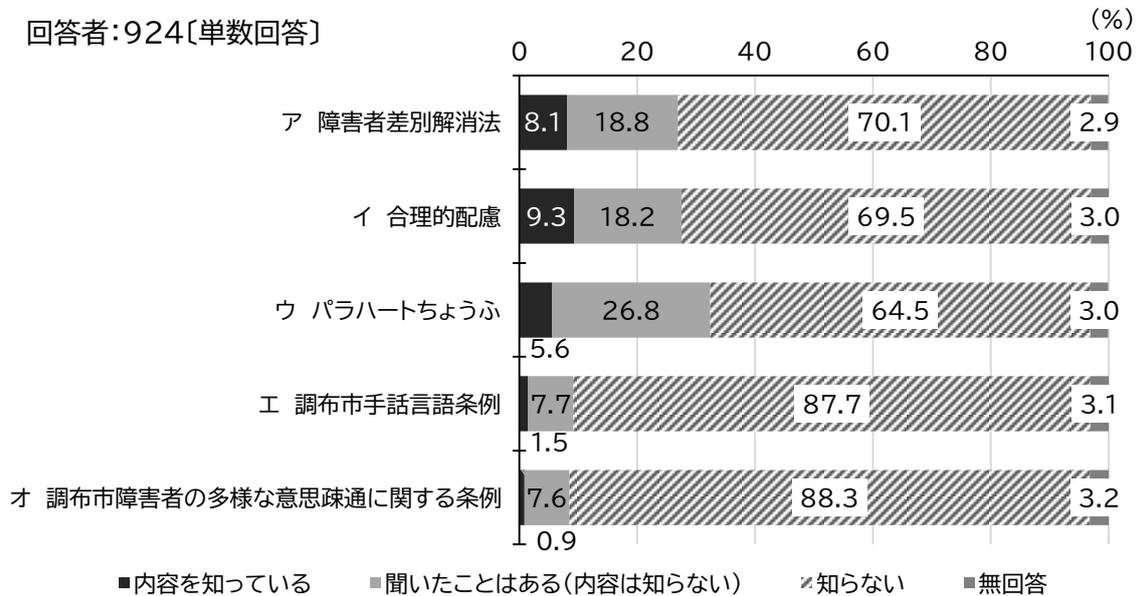


6 誰もが暮らしやすいまちづくりについておたずねします

問29 共生社会の充実のための法律や考え方，調布市が令和6年度に制定した2つの条例を知っていますか。（それぞれ1つに○）

○ 令和6年度に制定した2つの条例の認知度は，いずれも「知らない」が9割近くとなっている。

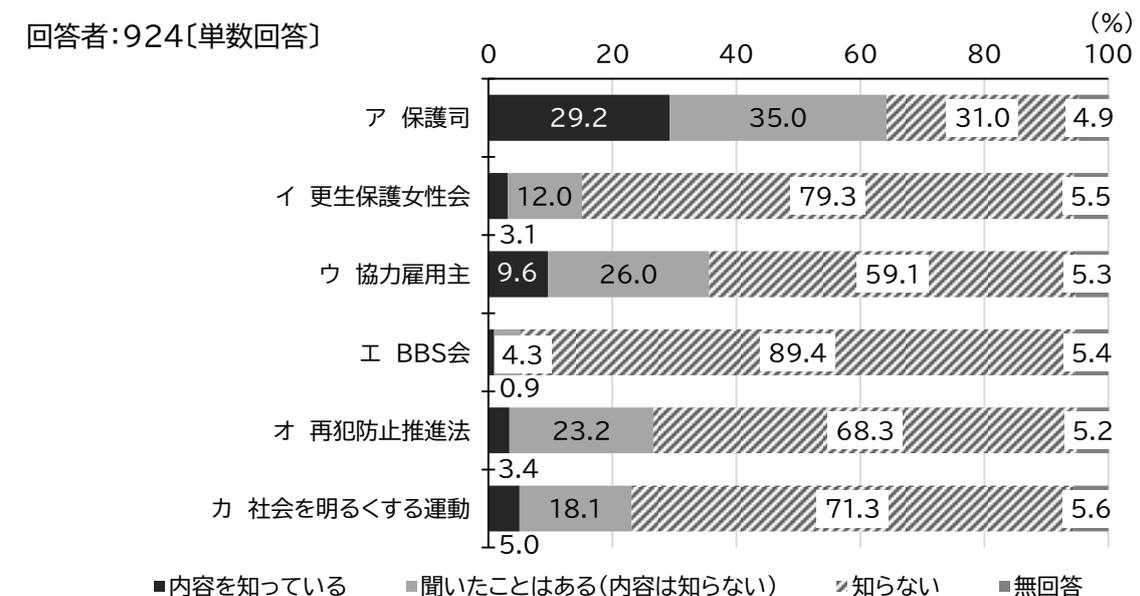
回答者：924〔単数回答〕



問30 犯罪や非行の防止，犯罪や非行をした人たちの更生（立ち直り）に協力する下記の民間協力者や活動などを知っていますか。（それぞれ1つに○）

○ 更生支援に関する取組の認知度は，「内容を知っている」では「保護司（29.2%）」で最も多く，「協力雇用主（9.6%）」、「社会を明るくする運動（5.0%）」が続いている。

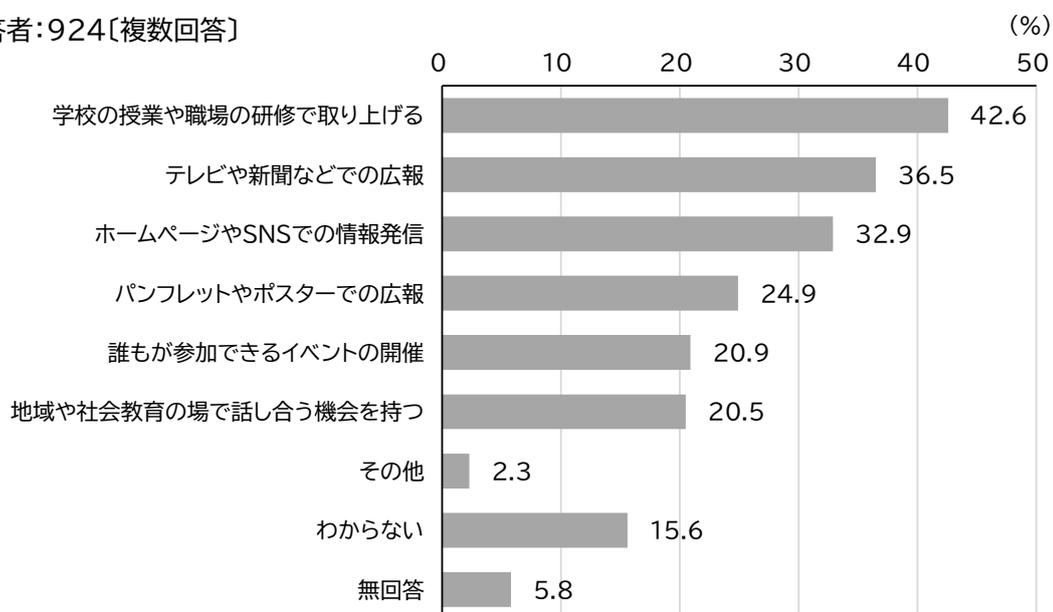
回答者：924〔単数回答〕



問 31 更生支援（再犯防止）に関して広く市民の理解や関心を深めるためには、どのような取組が必要だと思いますか。（それぞれ1つに○）

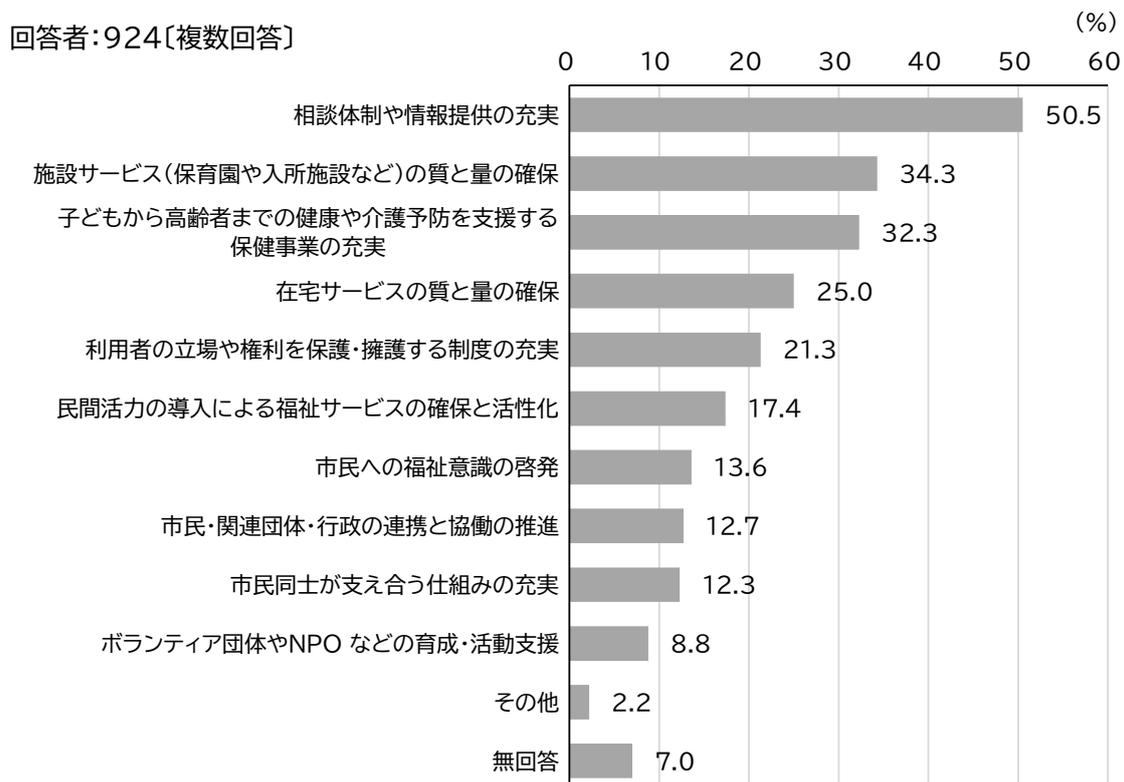
- 更生支援の理解や関心を深めるために必要な取組は、「学校の授業や職場の研修で取り上げる（42.6%）」で最も多く、「テレビや新聞などでの広報（36.5%）」、「ホームページやSNSでの情報発信（32.9%）」が続いている。

回答者：924〔複数回答〕



問 32 調布市の福祉施策（サービス）をより充実していくために、特に重要と考える取組は何ですか。（3つまで○）

- 福祉施策（サービス）の充実のために重要だと思う取組は、「相談体制や情報提供の充実（50.5%）」が最も多く、「施設サービス（保育園や入所施設など）の質と量の確保（34.3%）」「子どもから高齢者までの健康や介護予防を支援する保健事業の充実（32.3%）」が続いている。



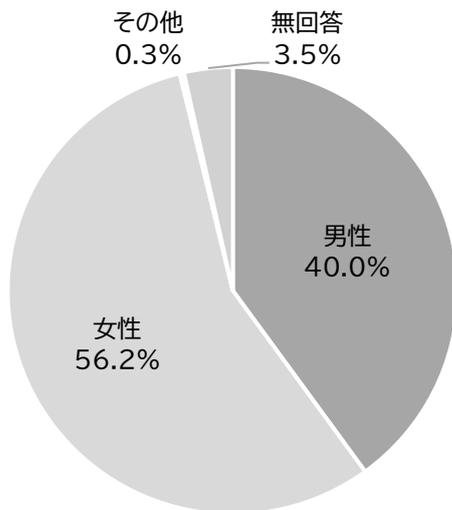
第3章 高齢者（65歳以上）調査結果

【調査名】 高齢者が暮らしやすいまちづくりのための福祉に関するアンケート

1 あなた（ご本人）についておたずねします（回答者の属性）

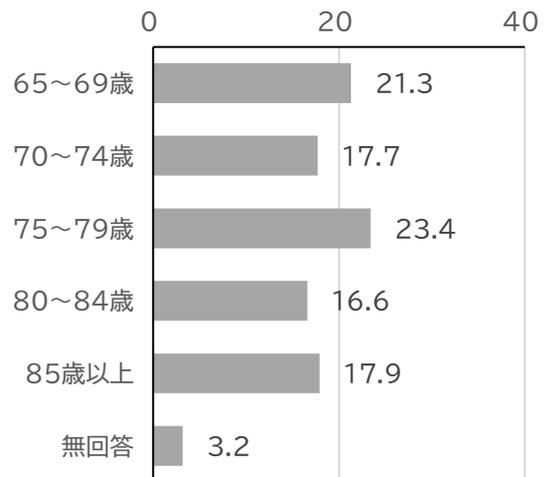
問1 性別

回答者:633〔単数回答〕



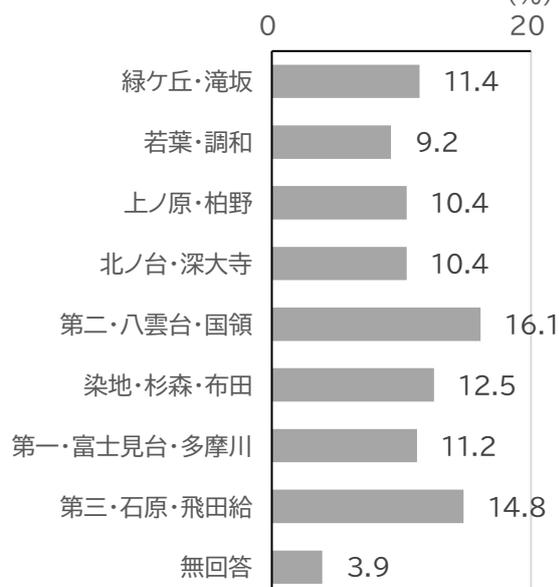
問2 年齢(令和7年10月1日時点)

回答者:633〔単数回答〕 (%)



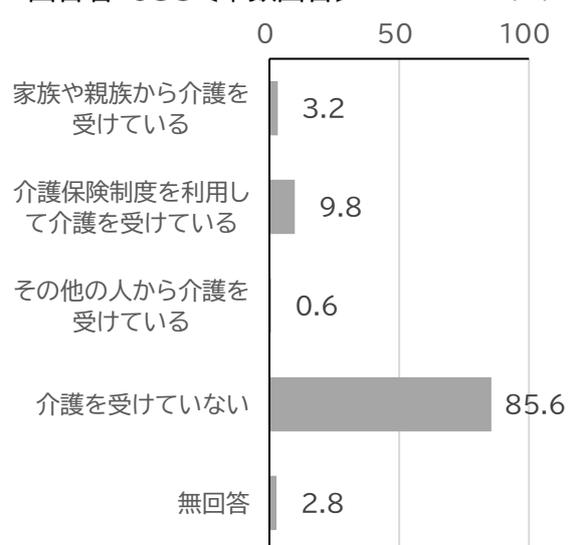
問3 居住地域

回答者:633〔単数回答〕



問7 介護の状況

回答者:633〔単数回答〕

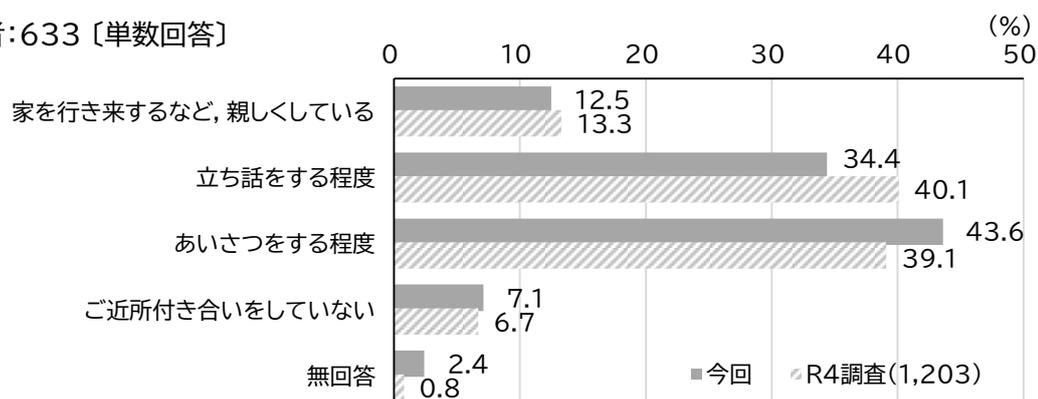


2 日頃のコミュニケーションについておたずねします

問8 ご近所付き合いは、どの程度していますか。（主なもの1つに○）

- 近所づきあいの状況は、「あいさつをする程度（43.6%）」が最も多く、「立ち話をする程度（34.4%）」が続いている。
- 令和4年調査と比較すると、『親密な近所付き合いをしている』（「家を行き来するなど、親しくしている」と「立ち話をする程度」の合計）割合は6.5ポイント減少しています。

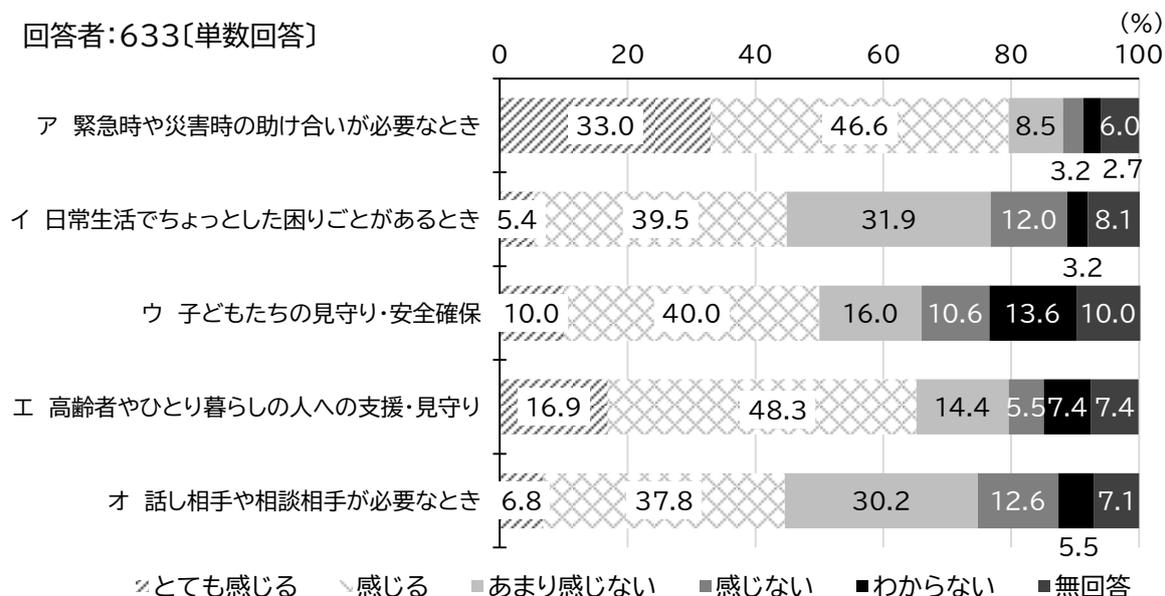
回答者:633〔単数回答〕



問9 どのような時にご近所付き合いの必要性を感じますか。（それぞれ1つに○）

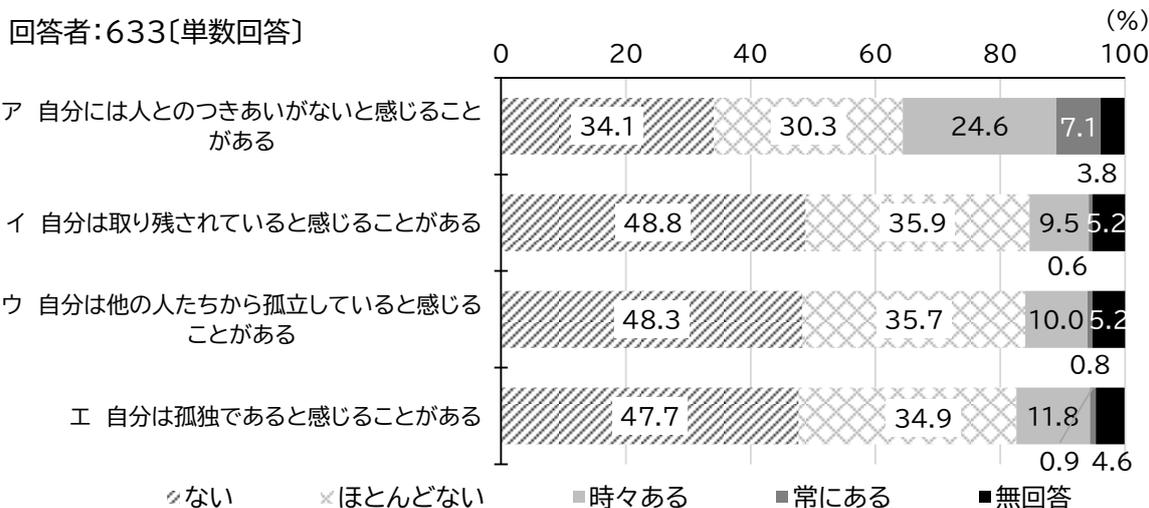
- 近所付き合いの必要性を感じる（「とても感じる」と「感じる」の合計）は、「緊急時や災害時の助け合いが必要なとき（79.6%）」が最も多く、「高齢者のひとり暮らしの人への支援・見守り（65.2%）」が続いている。

回答者:633〔単数回答〕



問 10 次の項目についてあなたはどれくらいの頻度で感じていますか。（それぞれ1つに○）

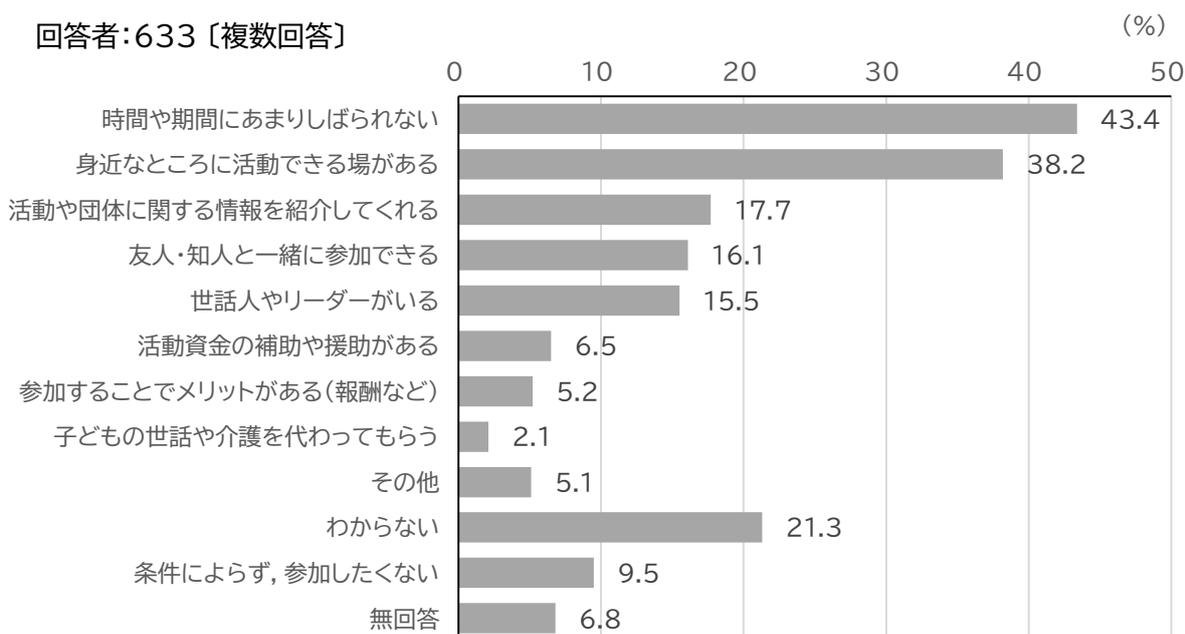
○ 孤独・孤立を感じること（「時々ある」と「常にある」の合計）は、「自分には人とのつきあいが無いと感じることがある（31.7%）」が最も多く、その他の項目は約1割となっている。



3 市民同士の支え合い、地域活動についておたずねします

問 16 どのような条件であれば、地域活動・ボランティア活動に参加・活動しやすいですか。（いくつでも○）

○ 地域活動・ボランティア活動へ参加しやすい条件は、「時間や期間にあまりしぼられない（43.4%）」が最も多く、「身近なところに活動できる場があること（38.2%）」が続いている。「条件によらず、参加したくない」は9.5%となっている。

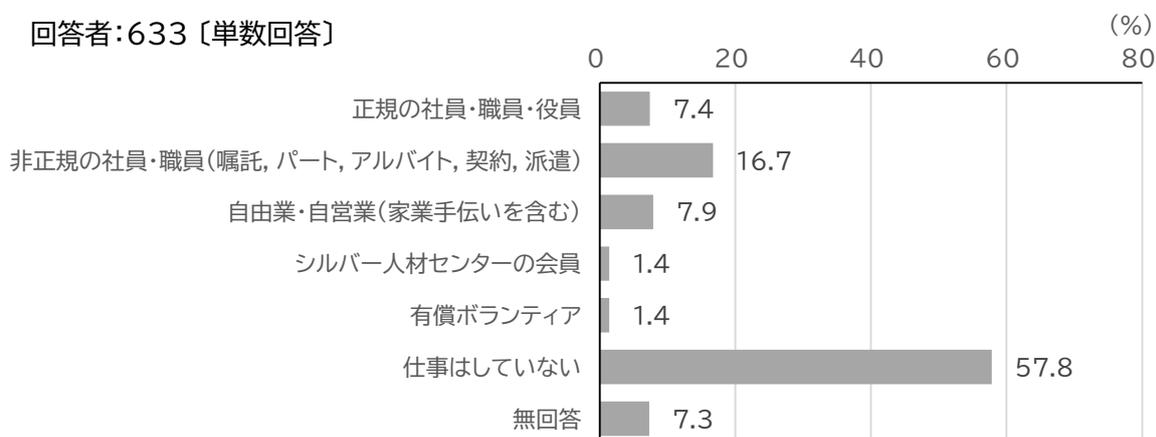


4 就労についておたずねします

問 17 現在の職業を教えてください。(1つに○)

- 現在の就労状況は、「仕事はしていない(57.8%)」が最も多く、「非正規の社員・職員(嘱託, パート, アルバイト, 契約, 派遣)(16.7%)」, 「自由業・自営業(家業手伝いを含む)(7.9%)」が続いている。

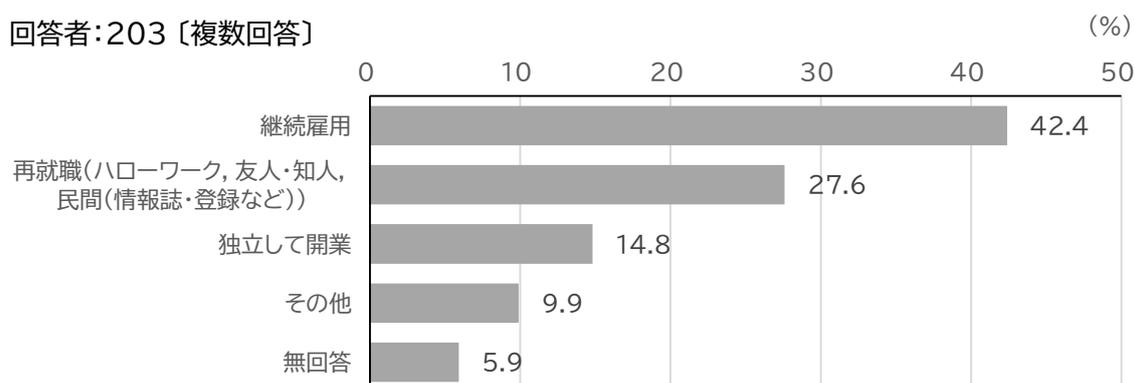
回答者:633 [単数回答]



付問 問 17 で「1~3(会社などで働いている)」と答えた方におたずねします。現在の職業に就いている経緯を教えてください。(いくつでも○)

- 会社などで働いていると回答した人に現在の職業に就いている経緯をたずねたところ、「継続雇用(42.4%)」が最も多く、「再就職(ハローワーク, 友人・知人, 民間(情報誌・登録など))(27.6%)」, 「独立して開業(14.8%)」が続いている。

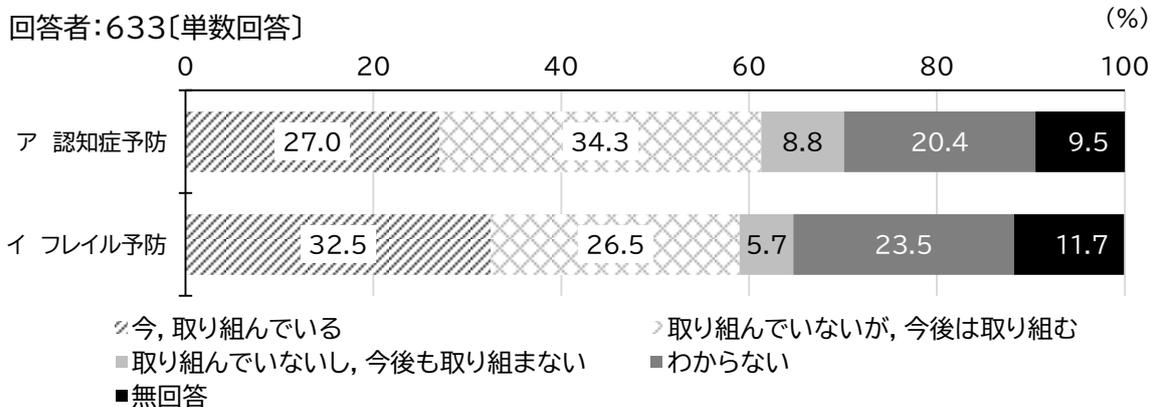
回答者:203 [複数回答]



5 健康増進，権利擁護の取組についておたずねします

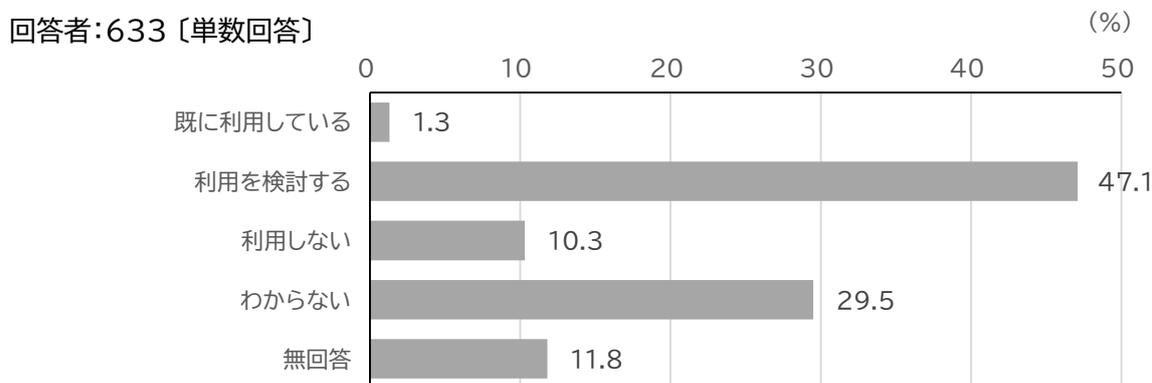
問 20 あなたは、健やかに暮らすために、次のことに取り組んでいますか。（それぞれ1つに○）

- 健やかに暮らすために今取り組んでいることは、「認知症予防（27.0%）」、「フレイル予防（32.5%）」となっている。



問 24 あなたやご家族のどなたかが認知症などによって判断が十分にできなくなる場合に備えて、あるいは既にできない場合、権利擁護に関する制度や事業を利用したいと思いませんか。（1つに○）

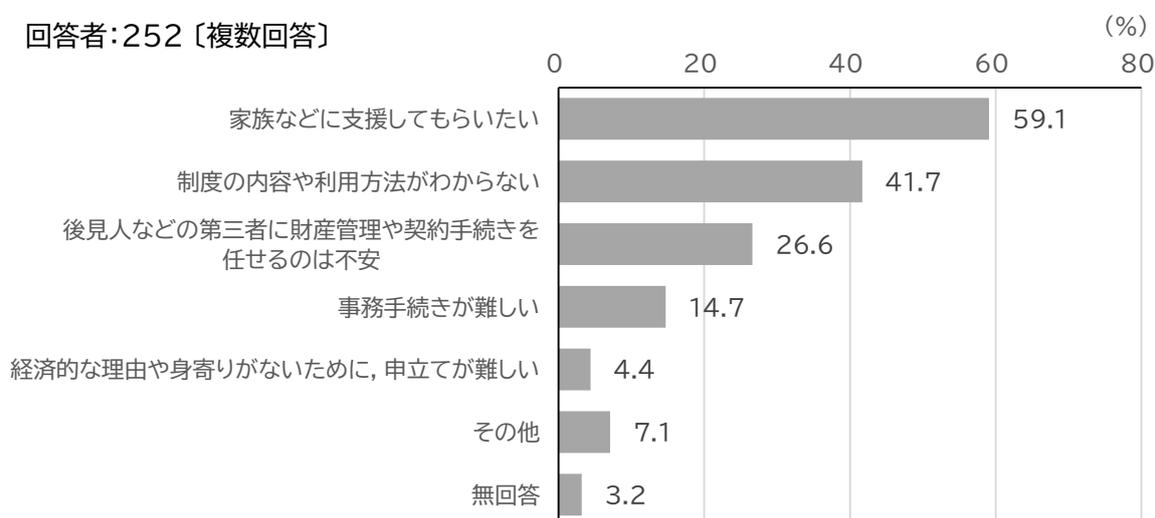
- 権利擁護に関する制度や事業の利用意向は、「利用を検討する（47.1%）」が最も多く、「わからない（29.5%）」が続いている。



付問 問 24 で「3 利用しない」, 「4 わからない」と答えた方におたずねします。 制度を利用しない, または, わからないと答えた主な理由は何ですか。(いくつでも○)

- 権利擁護に関する制度や事業を利用しない理由は, 「家族などに支援してもらいたい (59.1%)」が最も多く, 「制度の内容や利用方法がわからない (41.7%)」, 「後見人などの第三者に財産管理や契約手続きを任せるのは不安 (26.6%)」が続いている。

回答者:252〔複数回答〕

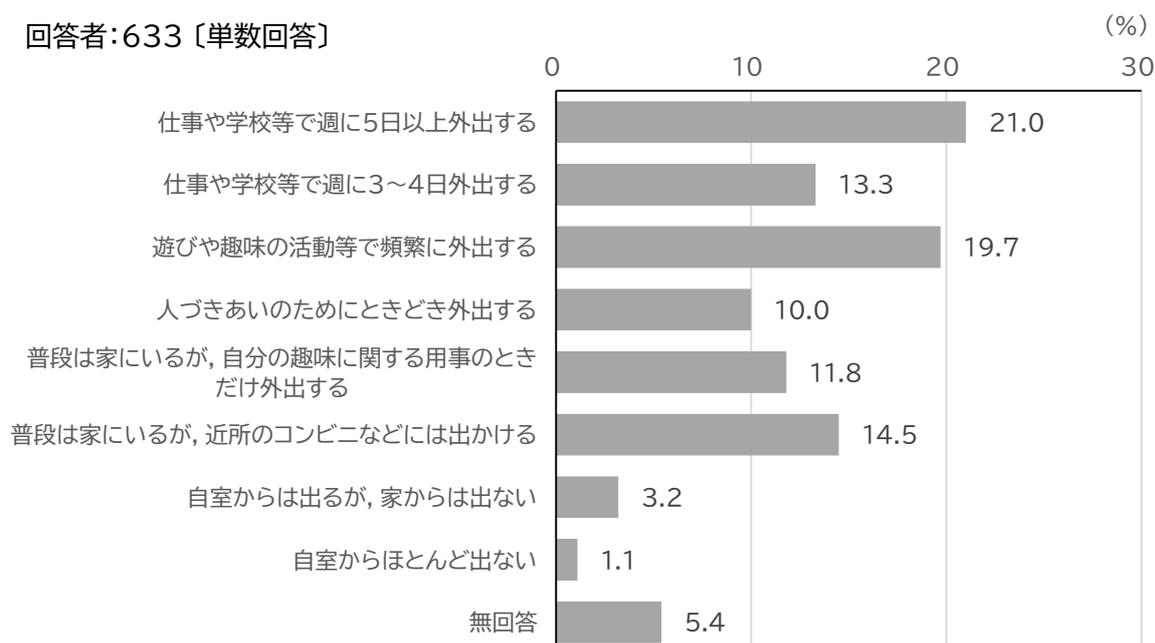


6 暮らしのことについておたずねします

問 27 あなたは普段, どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。(1 つに○)

- 外出状況は, 「仕事や学校等で週に5日以上外出する (21.0%)」が最も多く, 「遊びや趣味の活動等で頻繁に外出する (19.7%)」, 「普段は家にいるが, 近所のコンビニなどには出かける (14.5%)」が続いている。

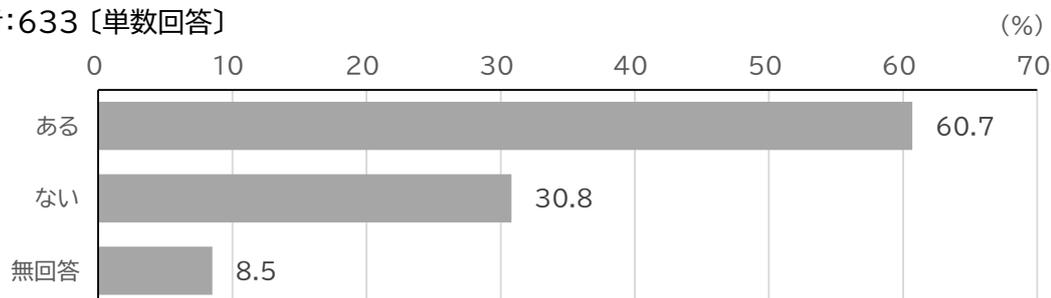
回答者:633〔単数回答〕



問 31 自宅以外にひとりで、あるいは友人・知人と過ごす場所がありますか。(1つに○)

- 自宅以外にひとりで、あるいは友人・知人と過ごす場所の有無は、「ある(60.7%)」、「ない(30.8%)」である。

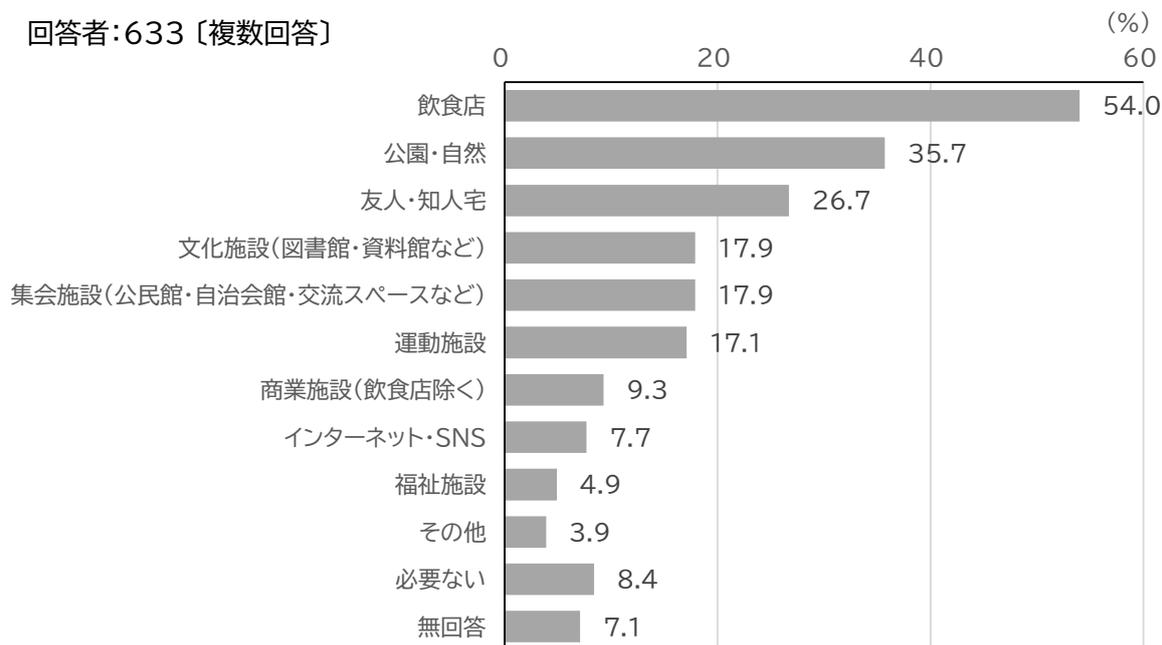
回答者:633 [単数回答]



問 32 自宅以外にひとりで、あるいは友人・知人と過ごす場合、どのような場所を望みますか。(いくつでも○)

- 自宅以外にひとりで、あるいは友人・知人と過ごす場合の希望の場所は、「飲食店(54.0%)」が最も多く、「公園・自然(35.7%)」、「友人・知人宅(26.7%)」が続いている。

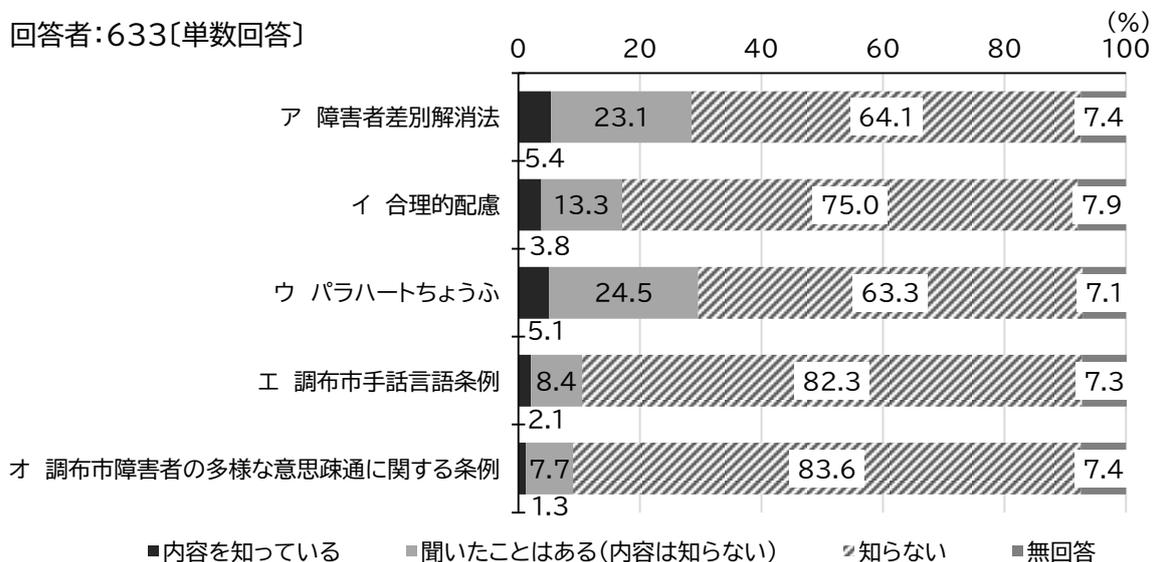
回答者:633 [複数回答]



7 誰もが暮らしやすいまちづくりについておたずねします

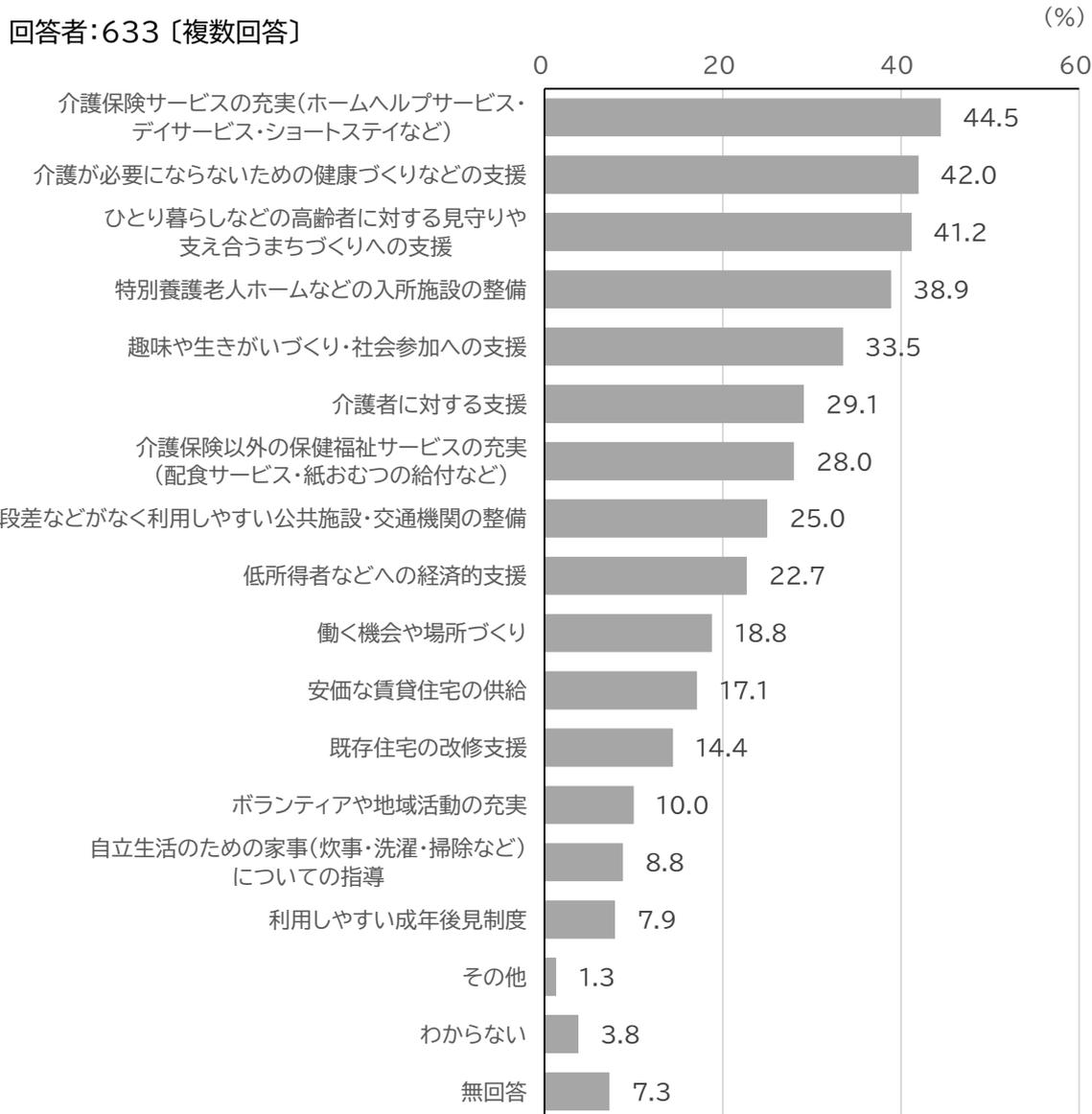
問 36 共生社会の充実のための法律や考え方、調布市が令和6年度に制定した2つの条例を知っていますか。(それぞれ1つに○)

○ 令和6年度に制定した2つの条例の認知度は、いずれも「知らない」が8割を超えている。



問 37 調布市の高齢者保健福祉施策（サービス）をより充実していくために、特に重要と考える取組は何ですか。（5つまで○）

○ 調布市の高齢者保健福祉施策（サービス）をより充実していくために重要な取組は、「介護保険サービスの充実（ホームヘルプサービス・デイサービス・ショートステイなど）（44.5%）」が最も多く、「介護が必要にならないための健康づくりなどの支援（42.0%）」、「ひとり暮らしなどの高齢者に対する見守りや支え合うまちづくりへの支援（41.2%）」が続いている。



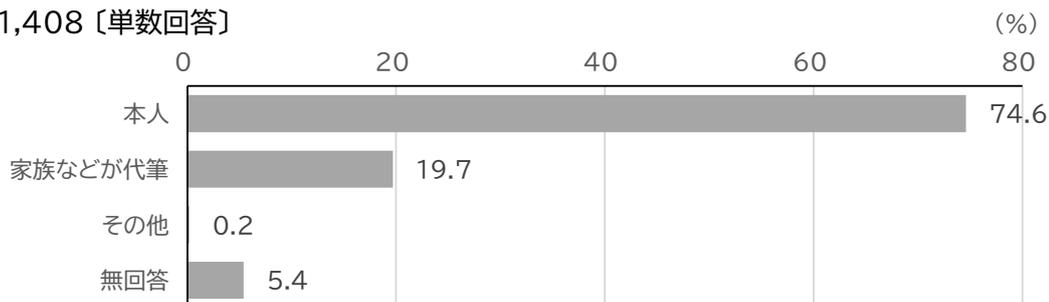
第4章 障害者（18歳以上）調査結果

【調査名】 障害のある人が暮らしやすいまちづくりのための福祉に関するアンケート

問1 この調査に回答していただく人を教えてください。（1つに○）

- 回答していただく方は、「本人（74.6%）」が最も多く、「家族などが代筆（19.7%）」が続いている。

回答者:1,408 [単数回答]



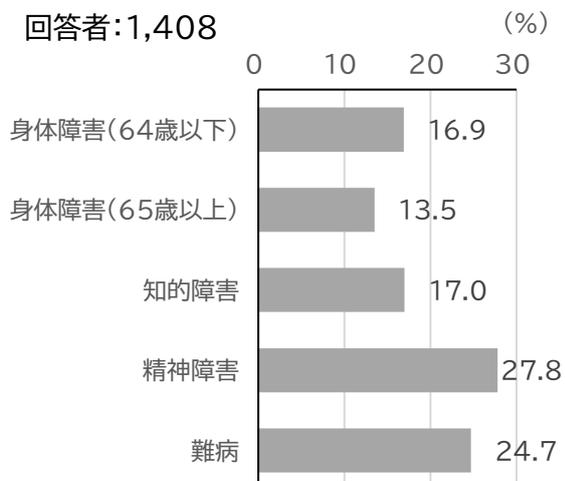
【障害別】

- 身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、精神障害、難病は「本人」が7割以上で最も多くなっている。
- 知的障害は「家族などが代筆（52.5%）」が最も多くなっている。

%		問1 調査回答者				
		回答者	本人	家族などが代筆	その他	無回答
障害種類	全体	1,408	74.6	19.7	0.2	5.4
	身体障害（64歳以下）	238	77.7	16.8	0.4	5.0
	身体障害（65歳以上）	190	73.2	18.4	-	8.4
	知的障害	240	40.4	52.5	-	7.1
	精神障害	392	84.9	11.2	-	3.8
	難病	348	85.3	9.5	0.6	4.6

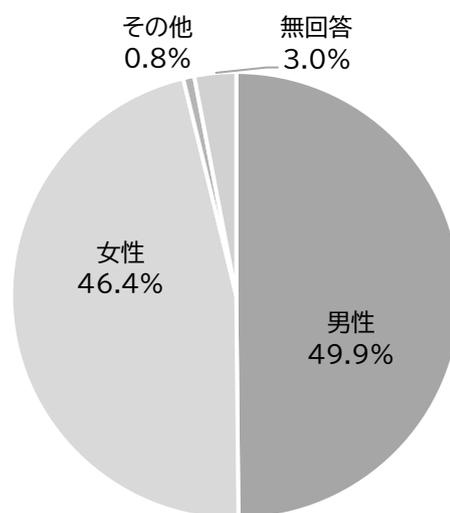
1 あなた（ご本人）についておたずねします

障害の種類



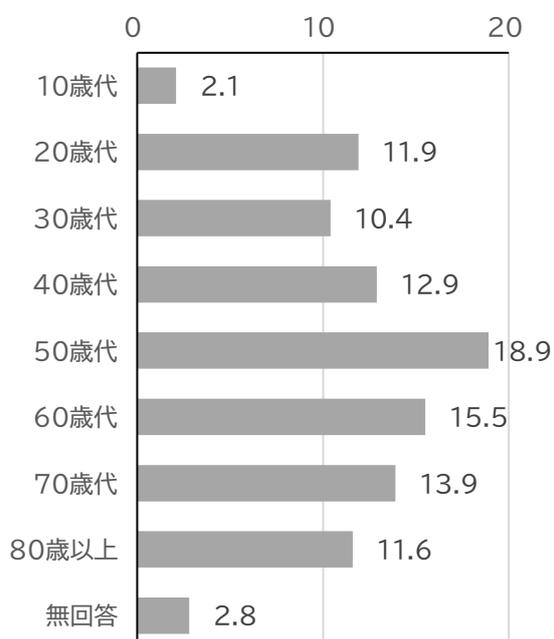
問1 性別

回答者:1,408 [単数回答]



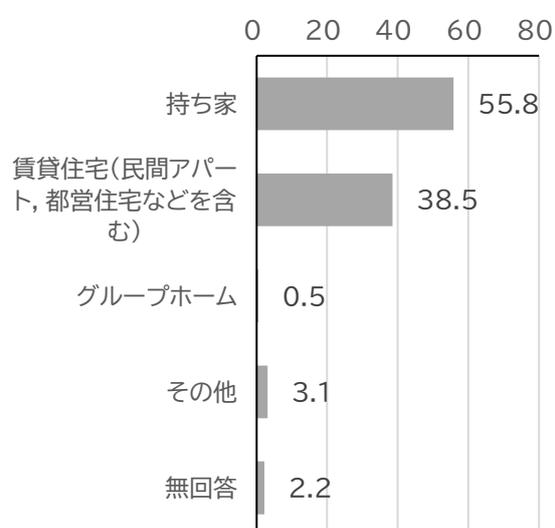
問2 年齢(令和7年10月1日時点)

回答者:1,408 [単数回答] (%)



問5 住居形態

回答者:1,408 [単数回答] (%)

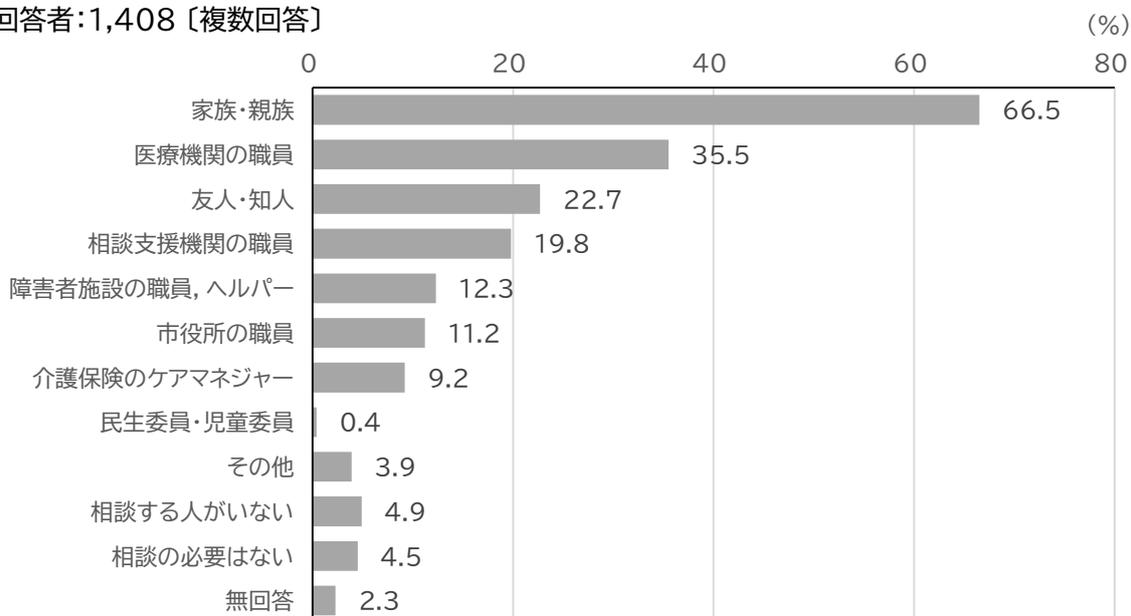


2 相談支援についておたずねします

問9 悩みや困りごとがある場合、主にどこに相談しますか。(いくつでも○)

- 悩みや困りごとの相談相手は、「家族・親族(66.5%)」が最も多く、「医療機関の職員(35.5%)」、「友人・知人(22.7%)」が続いている。「相談する人がいない」は4.9%となっている。

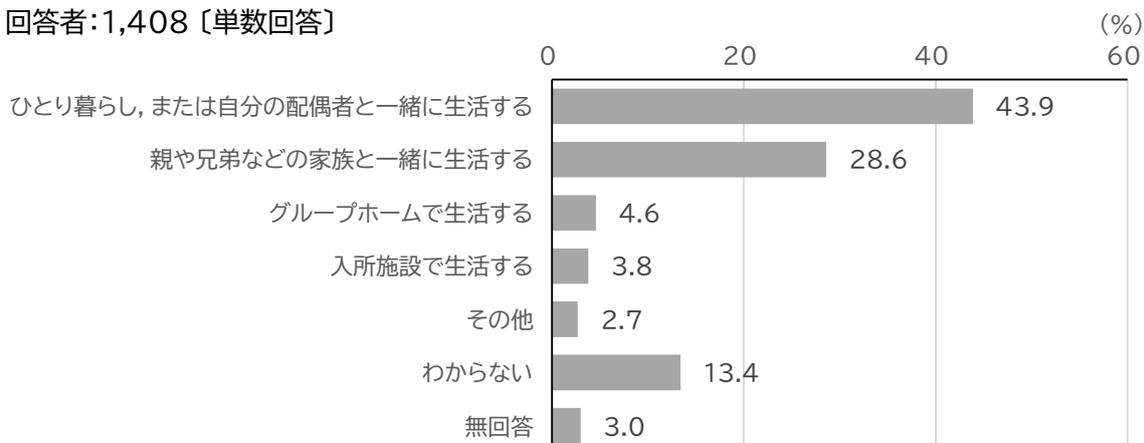
回答者:1,408〔複数回答〕



問11 今後、どのように生活したいですか。(1つに○)

- 今後の生活形態の意向は、「ひとり暮らし、または自分の配偶者と一緒に生活する(43.9%)」が最も多く、「親や兄弟などの家族と一緒に生活する(28.6%)」、「わからない(13.4%)」が続いている。

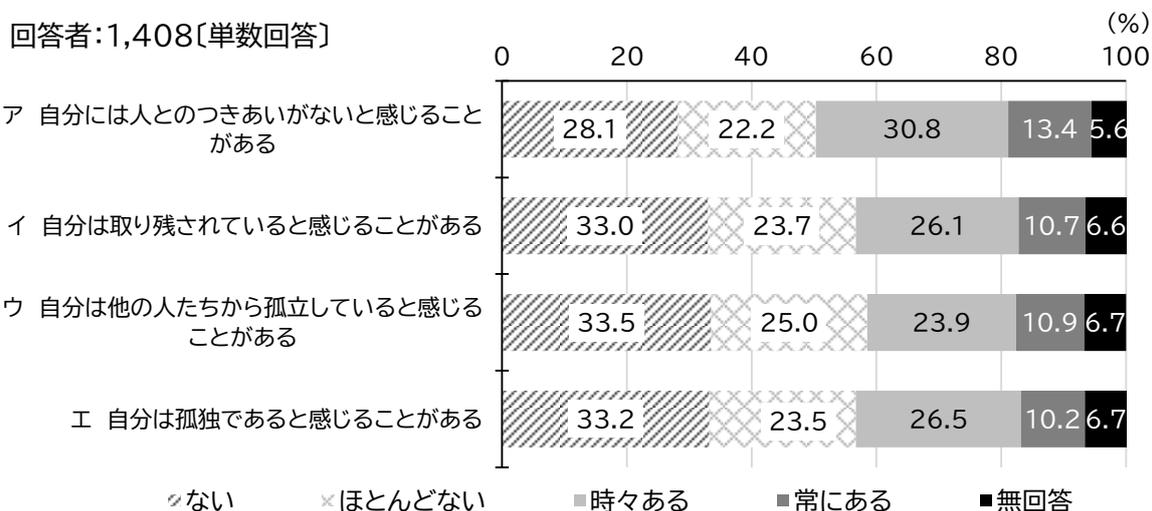
回答者:1,408〔単数回答〕



3 日頃のコミュニケーションについておたずねします

問 12 次の項目についてあなたはどれくらいの頻度で感じていますか。（それぞれ1つに○）

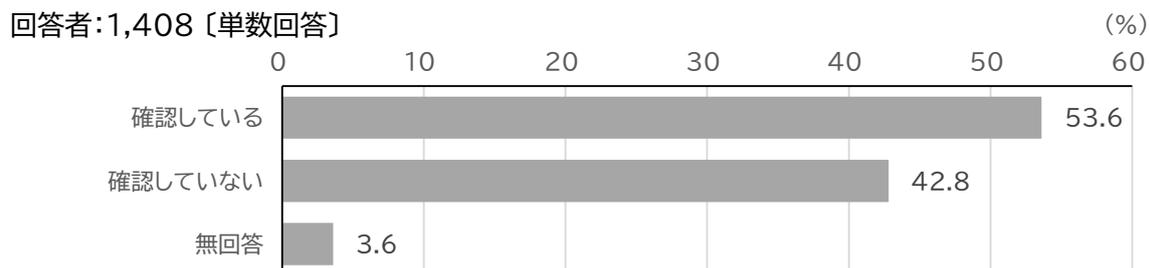
○ 孤独・孤立を感じること（「時々ある」と「常にある」の合計）は、「自分には人とのつきあいが無いと感じることがある（44.2%）」が最も多く、その他の項目は3割半ばとなっている。



4 災害時の対策についておたずねします

問 14 防災マップや洪水ハザードマップなどで避難場所・避難経路・警戒区域などを確認していますか。（1つに○）

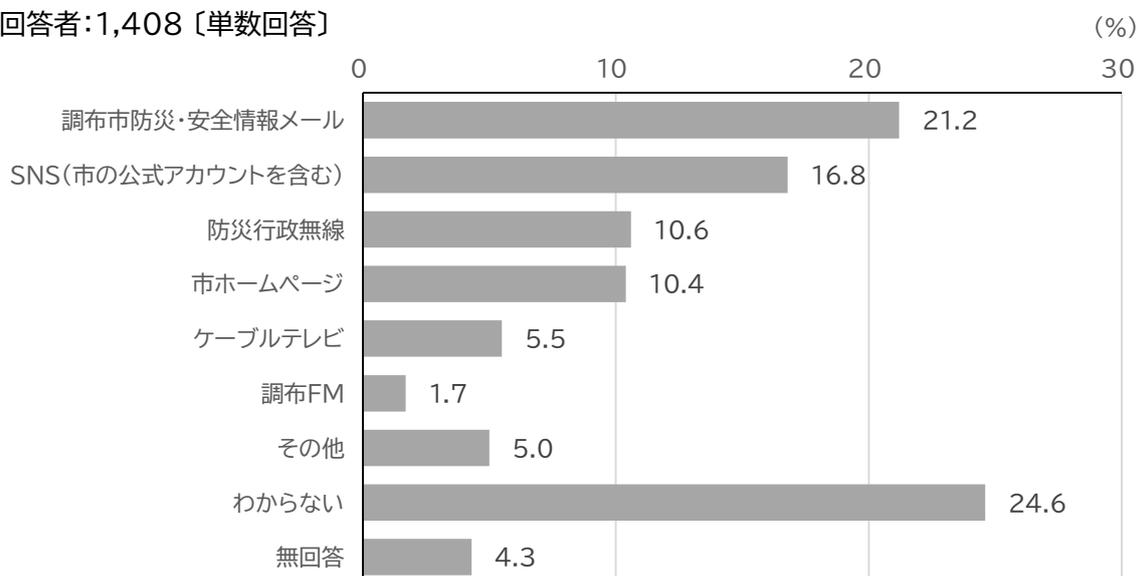
○ 避難場所・避難経路・警戒区域などの確認は、「確認している（53.6%）」、「確認していない（42.8%）」である。



問 15 災害や火災などの緊急の際、避難情報を主にどこからとりますか。(1つに○)

- 避難情報の入手先は、「わからない(24.6%)」が最も多く、「調布市防災・安全情報メール(21.2%)」,「SNS(市の公式アカウント含む)(16.8%)」が続いている。

回答者:1,408〔単数回答〕

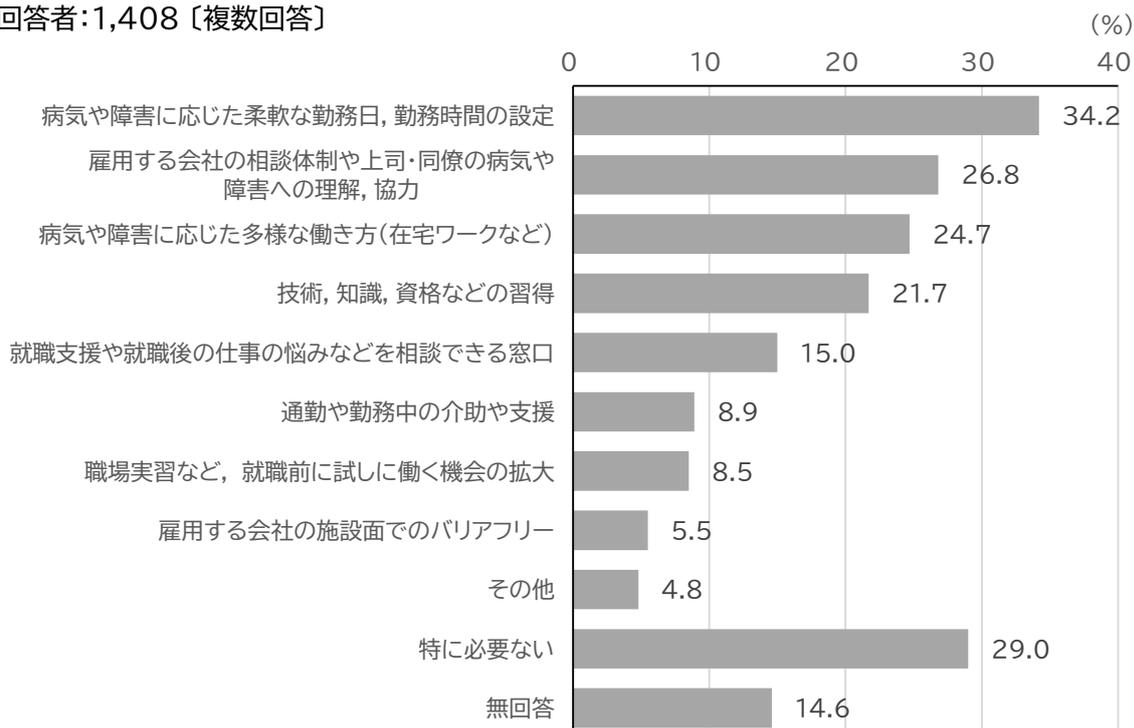


5 暮らしについておたずねします

問 19 あなたが仕事をするために、必要なことはありますか。(1つに○)

- 仕事をするために必要なことは、「病気や障害に応じた柔軟な勤務日,勤務時間の設定(34.2%)」が最も多く,「特に必要ない(29.0%)」,「雇用する会社の相談体制や上司・同僚の病気や障害への理解,協力(26.8%)」が続いている。

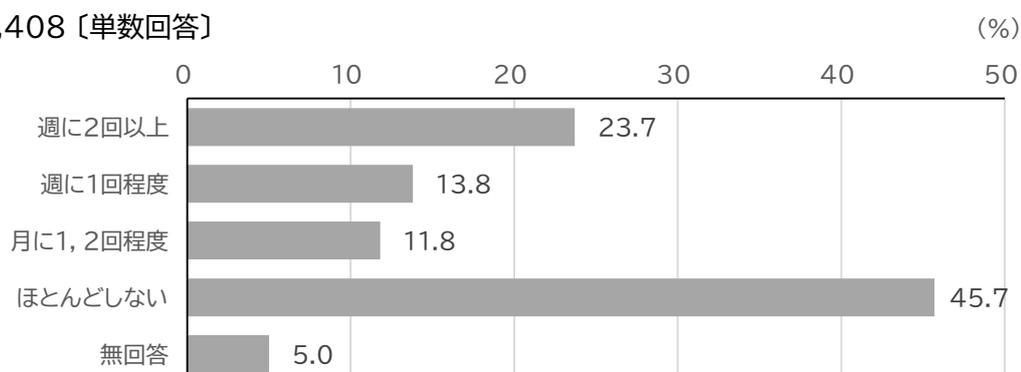
回答者:1,408〔複数回答〕



問 21 スポーツ・運動をする機会はどのくらいありますか。(1つに○)

○ スポーツ活動・運動をする頻度は、「ほとんどしない(45.7%)」が最も多く、「週に2回以上(23.7%)」,「週に1回程度(13.8%)」が続いている。

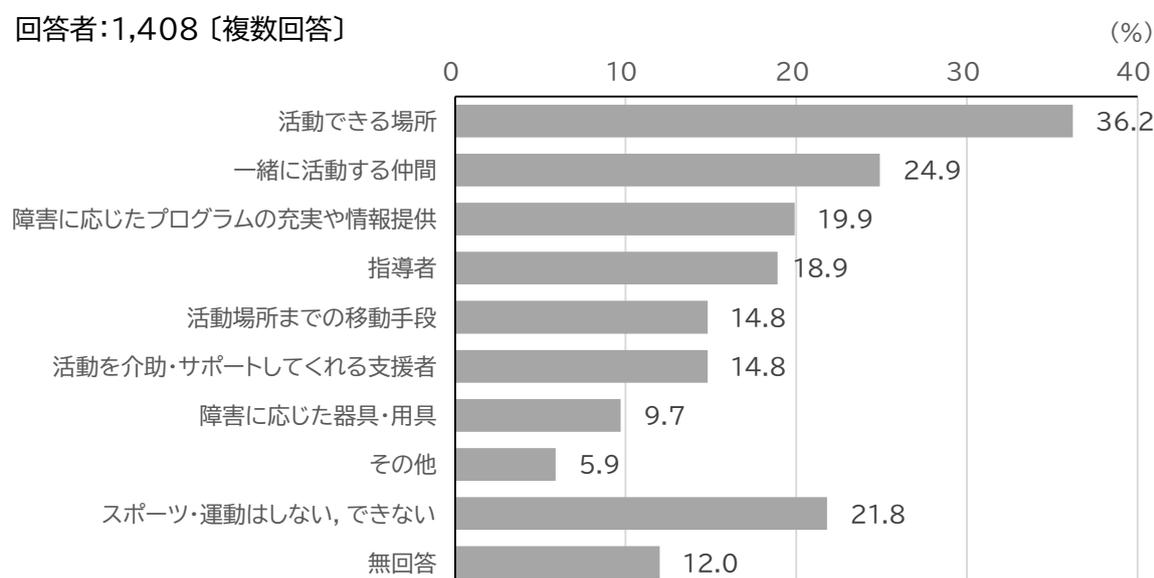
回答者:1,408〔単数回答〕



問 23 スポーツ・運動をするために必要な支援は何ですか。(いくつでも○)

○ スポーツ活動・運動をするための支援は、「活動できる場所(36.2%)」が最も多く、「一緒に活動する仲間(24.9%)」,「スポーツ・運動はしない,できない(21.8%)」が続いている。

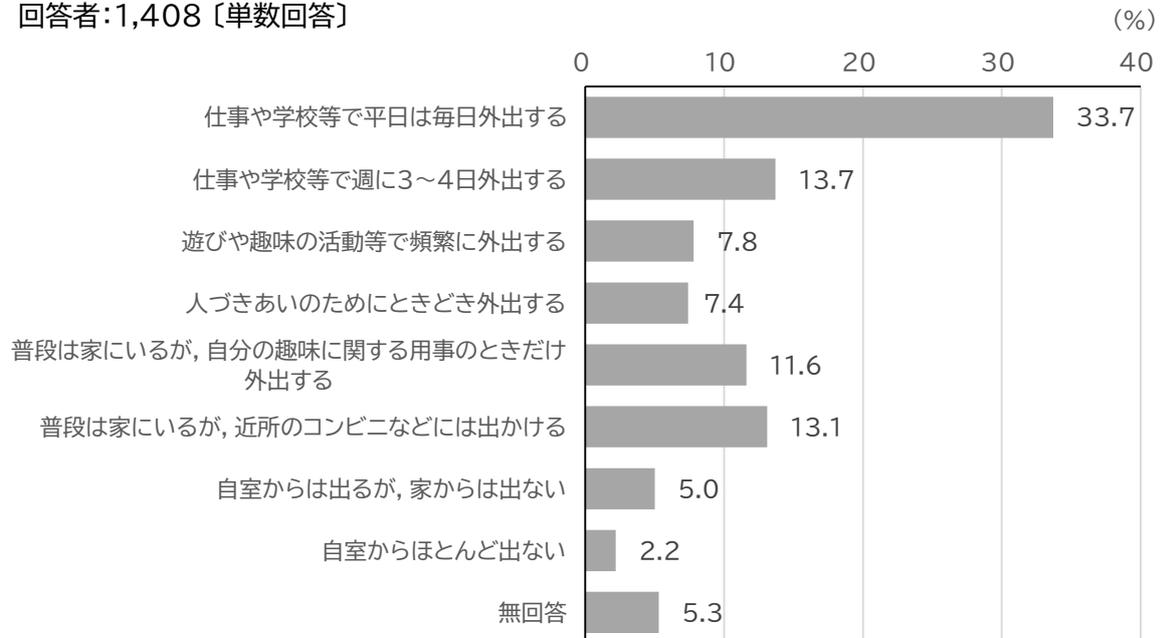
回答者:1,408〔複数回答〕



問 24 あなたは普段、どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。（1
つに○）

- 外出状況は、「仕事や学校等で平日は毎日外出する（33.7%）」が最も多く、「仕事や学校
等で週に 3～4 日外出する（13.7%）」、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出か
ける（13.1%）」が続いている。

回答者:1,408〔単数回答〕

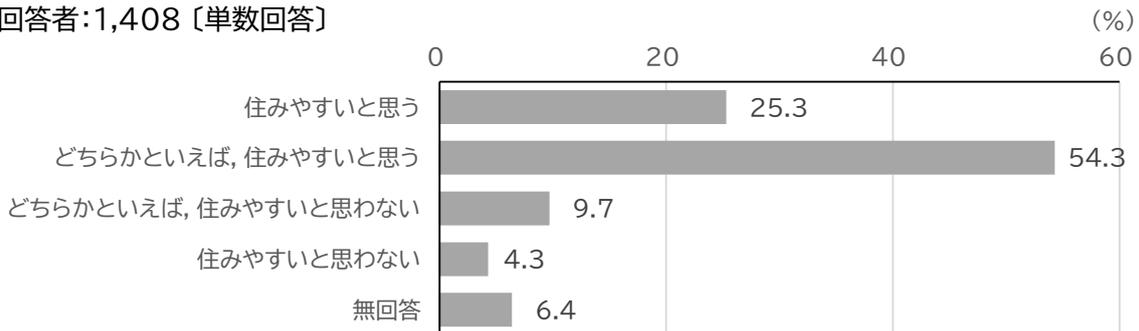


6 誰もが暮らしやすいまちづくりについておたずねします

問 26 調布のまちは、障害（身体障害、知的障害、精神障害、難病など）のある人にとって、福祉サービス、バリアフリー、市民意識などを総合的に考え、住みやすいまちであると感じますか。（1つに○）

○ 調布のまちは、障害のある人にとって住みやすいまちと感じるかについて、「住みやすいと思う」と「どちらかといえば住みやすいと思う」を合わせた『住みやすい』の割合が79.6%、「どちらかといえば、住みやすいと思わない」と「住みやすいと思わない」を合わせた『住みやすくない』が14.0%である。

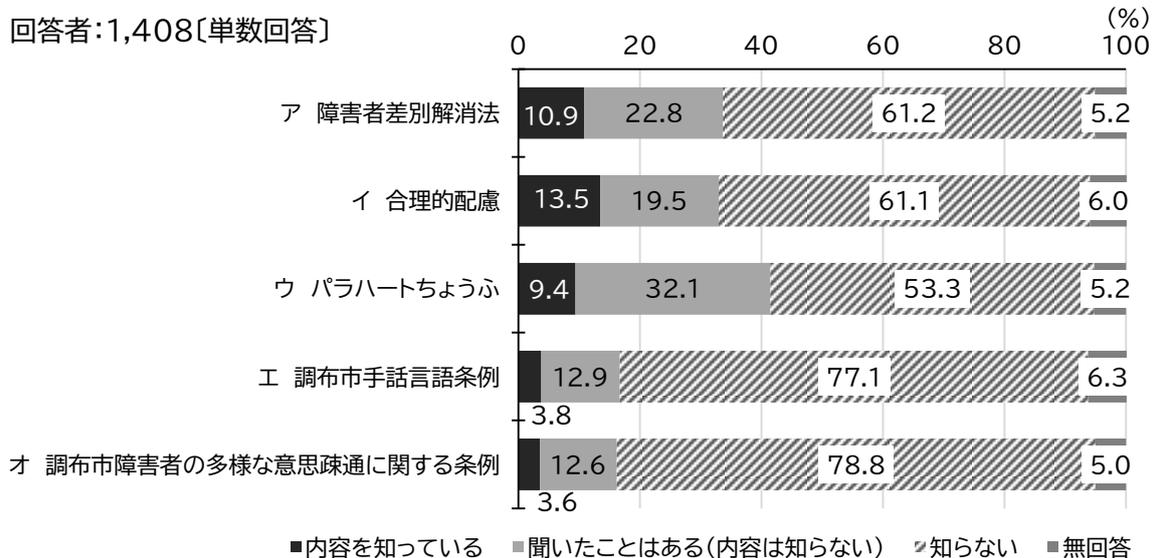
回答者:1,408〔単数回答〕



問 27 共生社会の充実のための法律や考え方、調布市が令和6年度に制定した2つの条例を知っていますか。（それぞれ1つに○）

○ 令和6年度に制定した2つの条例の認知度は、いずれも「知らない」が7割を超えている。

回答者:1,408〔単数回答〕

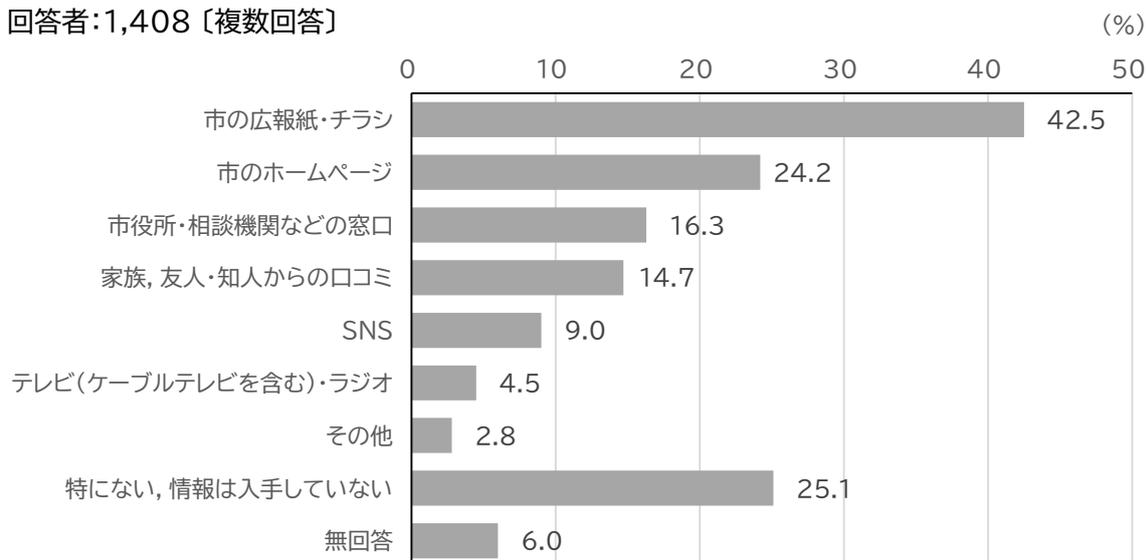


7 デジタルの活用についておたずねします

問 34 調布市の保健福祉施策（サービス）に関する情報をどこから入手していますか。（いくつでも○）

- 調布市の保健福祉施策（サービス）に関する情報入手先は、「市の広報紙・チラシ（42.5%）」が最も多く、「特にない，情報は入手していない（25.1%）」，「市のホームページ（24.2%）」が続いている。

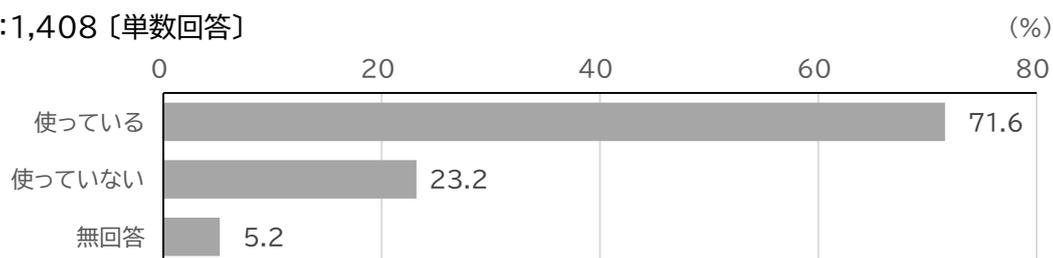
回答者:1,408〔複数回答〕



問 35 普段，スマートフォンなどの情報端末やパソコンなどを使っていますか。（1 つに○）

- 情報端末やパソコンなどの使用は、「使っている（71.6%）」，「使っていない（23.2%）」である。

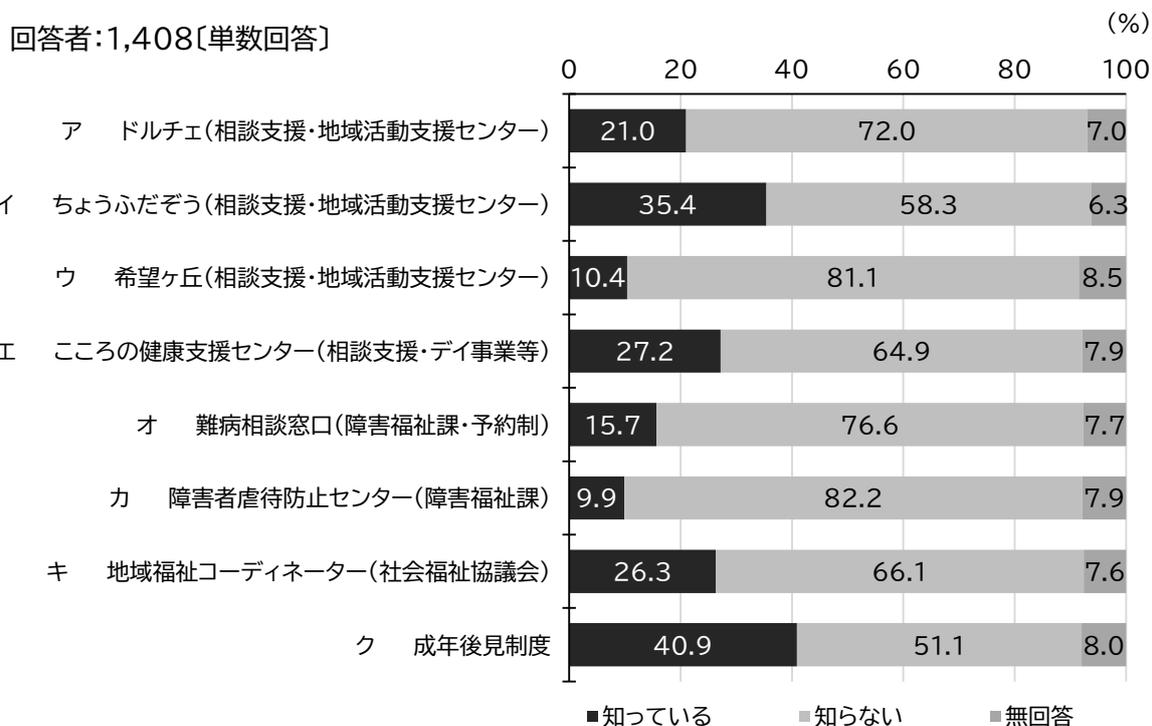
回答者:1,408〔単数回答〕



8 調布市の障害者福祉施策についておたずねします

問 37 あなたは次の調布市の相談窓口や制度を知っていますか。（それぞれ1つに○）

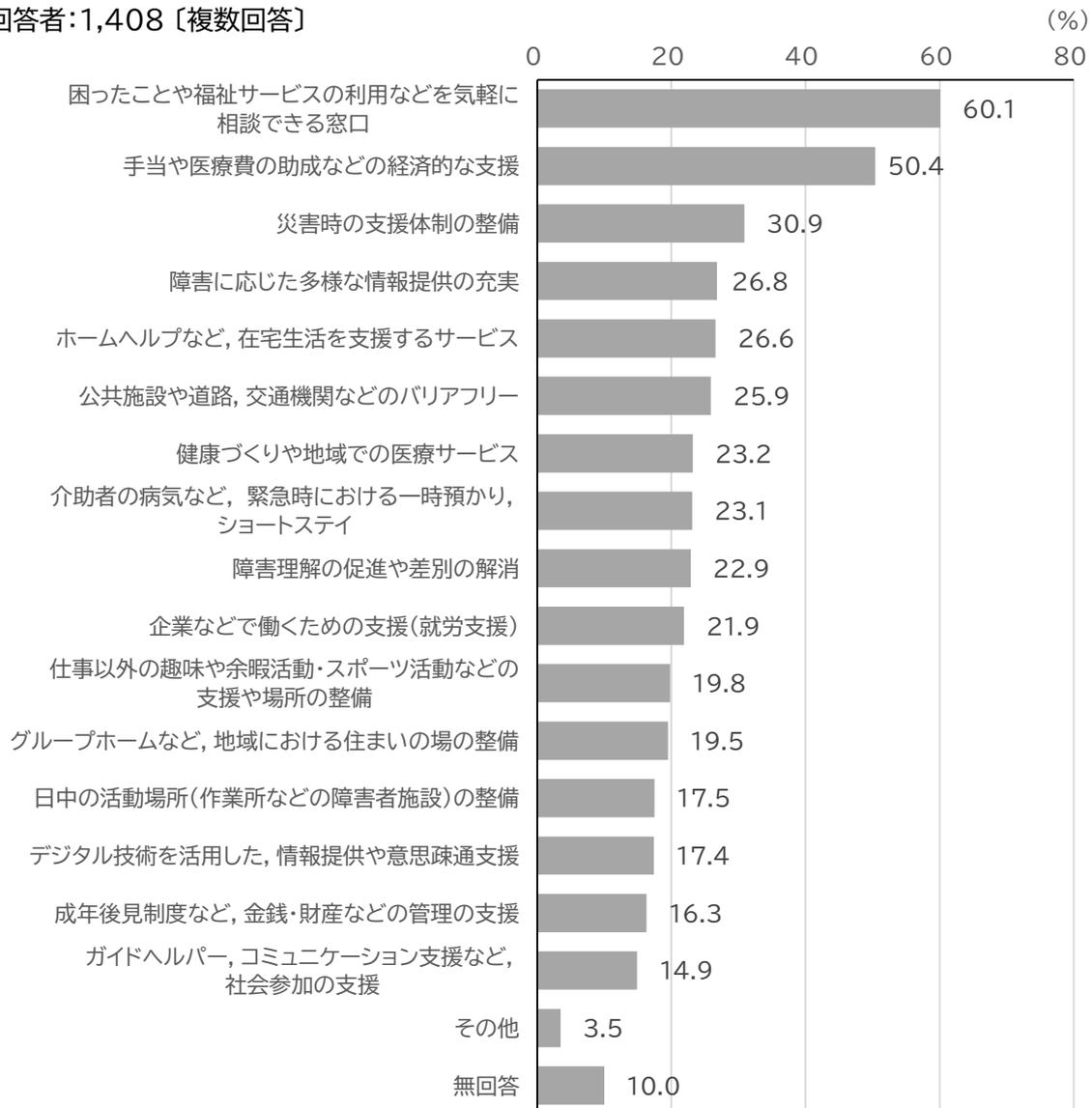
○ 調布市の相談窓口の認知状況の「知っている」の割合は、「成年後見制度（40.9%）」が最も多く、「ちょうふだぞう（35.4%）」、「こころの健康支援センター（27.2%）」が続いている。



問 38 調布市の障害者福祉施策（サービス）をより充実していくために、特に重要と考える取組は何ですか。（いくつでも○）

○ 今後力を入れるべき障害者福祉施策（サービス）を充実するための取組は、「困ったことや福祉サービスの利用などを気軽に相談できる窓口（60.1%）」が最も多く、「手当や医療費の助成などの経済的な支援（50.4%）」、「災害時の支援体制の整備（30.9%）」が続いている。

回答者:1,408〔複数回答〕

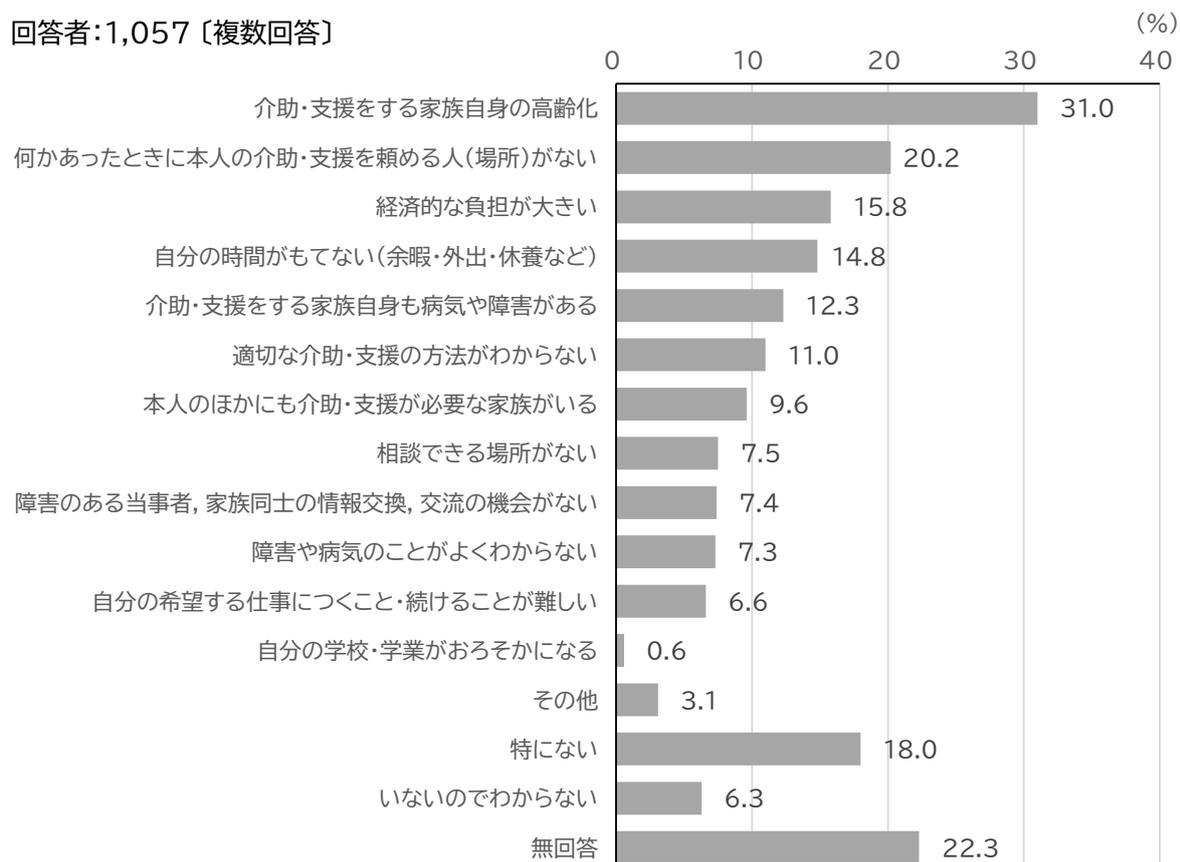


9 ご家族におたずねします (ひとり暮らしやグループホームなどの人は回答不要)

問 41 ご家族におたずねします(ご家族以外は回答不要)。介助や支援にあたってどのような不安や困りごとがありますか。(いくつでも○)

- ご家族の介護や支援にあたっての不安や困りごとは、「介助・支援をする家族自身の高齢化(31.0%)」が最も多く、「何かあったときに本人の介助・支援を頼める人(場所)がない(20.2%)」, 「特にない(18.0%)」が続いている。

回答者:1,057〔複数回答〕



第5章 障害児（18歳未満）の保護者調査結果

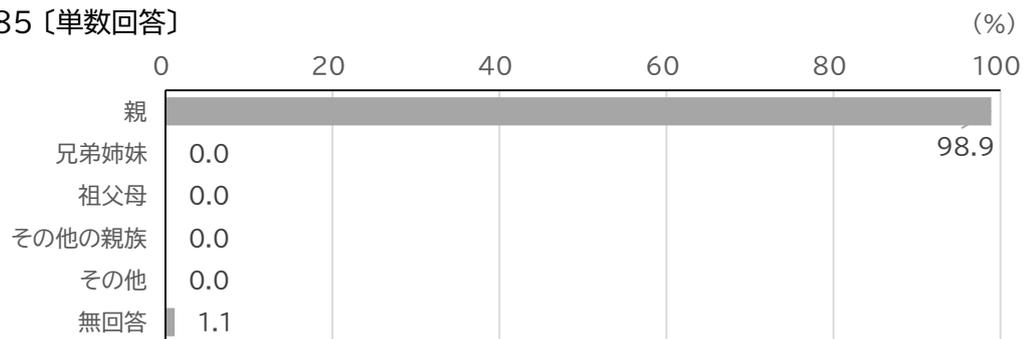
【調査名】子どもと保護者が暮らしやすいまちづくりのための福祉に関するアンケート

1 保護者（調査に回答していただく人）についておたずねします

問1 あて名のお子さんからみて、保護者（回答者）はどなたですか。（1つに○）

○ 回答者は、「親（98.9%）」である。

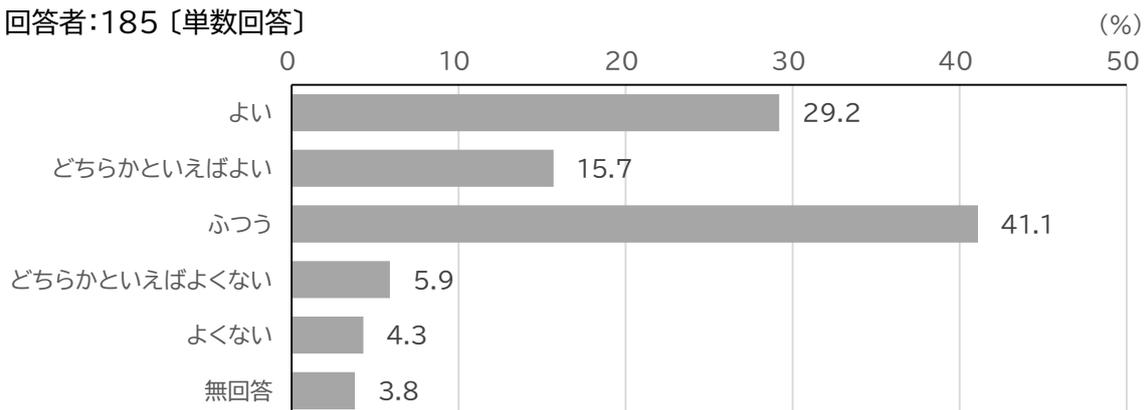
回答者:185〔単数回答〕



問5 あなた（保護者）は、ご自分の健康状態をどのように感じていますか。（1つに○）

○ 保護者の健康状況は、「ふつう（41.1%）」が最も多く、「よい」と「どちらかといえばよい」を合わせた『健康である』は 44.9%、「どちらかといえばよくない」と「よくない」を合わせた『健康ではない』は 10.2%となっている。

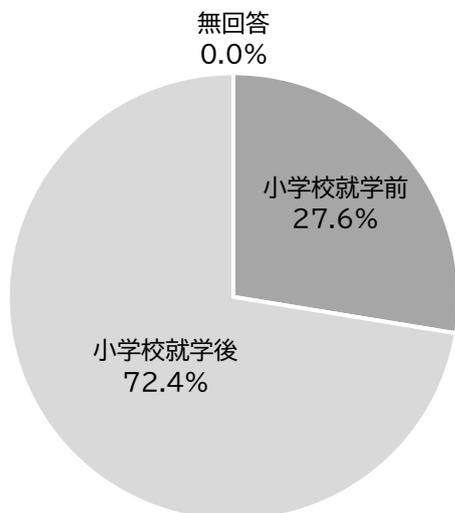
回答者:185〔単数回答〕



2 保護者の方に、あて名のお子さんについておたずねします

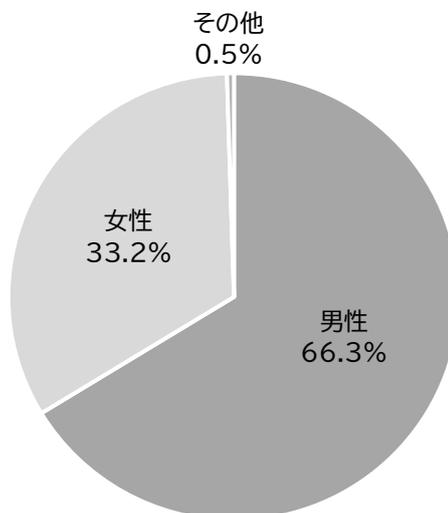
問6 就学状況

回答者:185〔単数回答〕



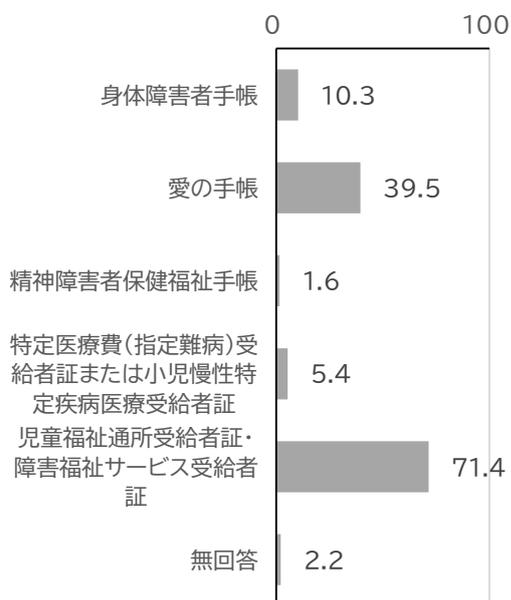
問7 性別

回答者:185〔単数回答〕



問8 お持ちの障害者手帳等

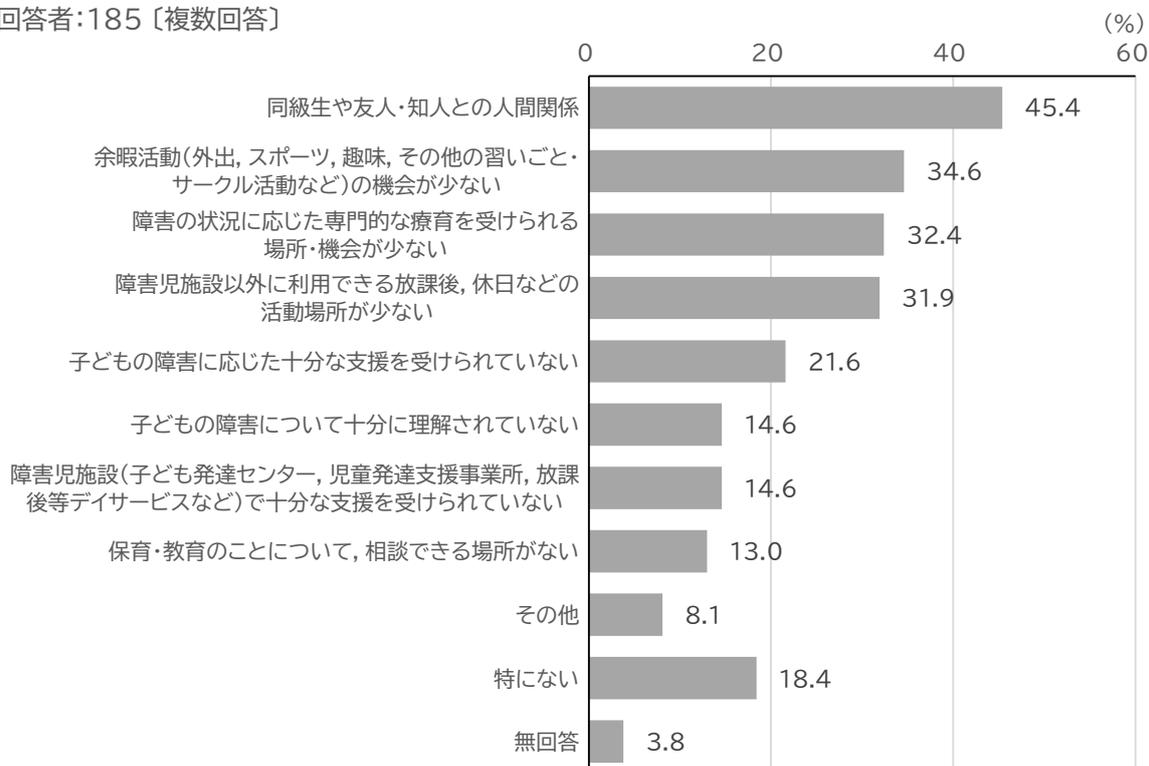
回答者:185〔複数回答〕 (%)



問14 あて名のお子さんの日常生活で不安や課題と感じていることはありますか。(いくつでも○)

○ 保護者が感じている地域の暮らしの中での不安や課題は、「同級生や友人・知人との人間関係(45.4%)」が最も多く、「余暇活動(外出, スポーツ, 趣味, その他の習いごと・サークル活動など)の機会が少ない(34.6%)」「障害の状況に応じた専門的な療育を受けられる場所・機会が少ない(32.4%)」, が続いている。

回答者:185〔複数回答〕

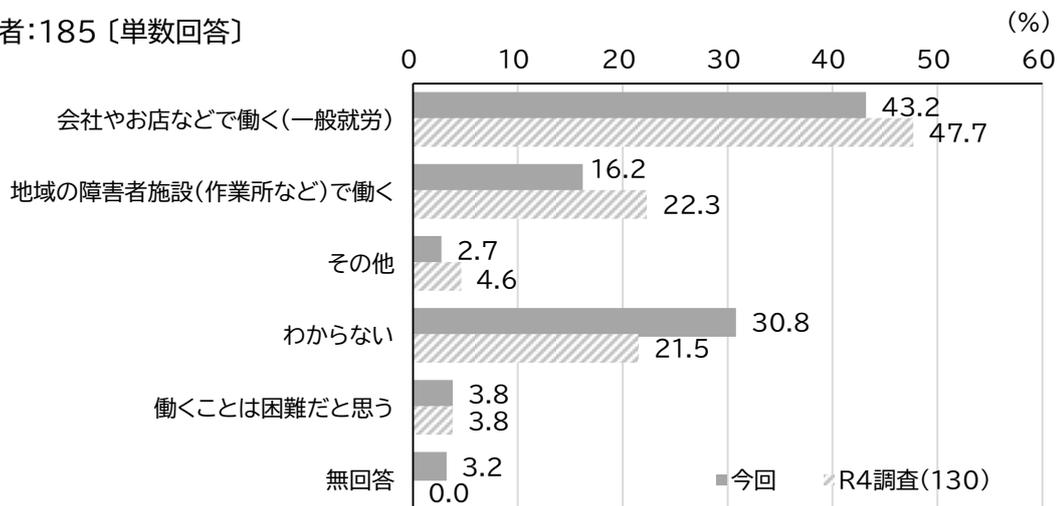


問17 将来, あて名のお子さんに, どのような働き方を希望していますか。(1つに○)

○ 子どもの将来の働き方の希望は, 「会社やお店などで働く(一般就労)(43.2%)」が最も多く, 「わからない(30.8%)」「地域の障害者施設(作業所など)で働く(16.2%)」, が続いている。

○ 令和4年調査と比較すると, 「わからない」の割合が9.3ポイント増加しています。

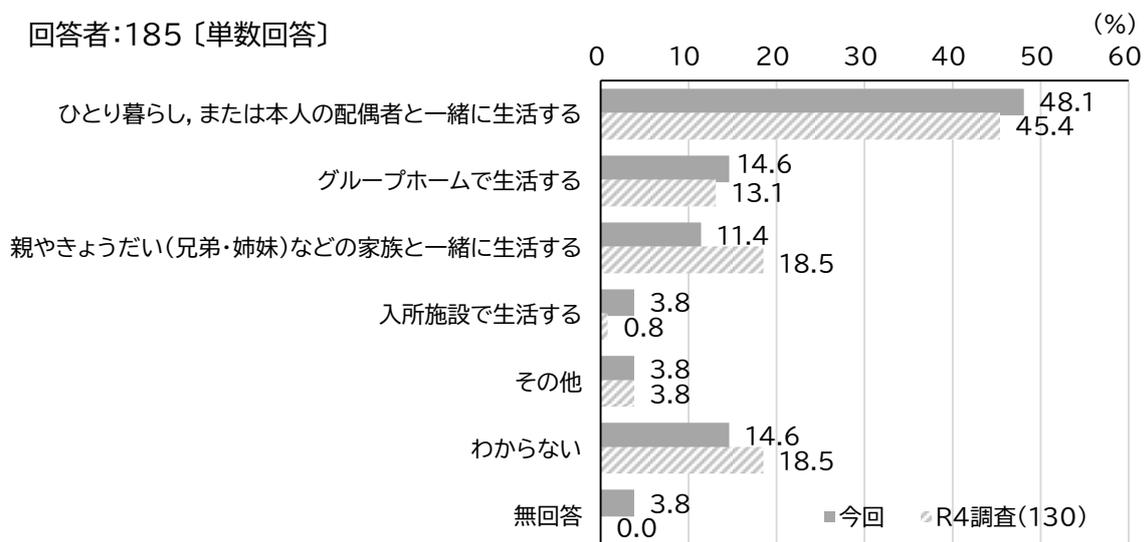
回答者:185〔単数回答〕



問 19 将来、あて名のお子さんに、どのような生活を希望しますか。(1つに○)

- 子どもの将来の生活の希望は、「ひとり暮らし、または本人の配偶者と一緒に生活する(48.1%)」が最も多く、「グループホームで生活する(14.6%)」、「わからない(14.6%)」が続いている。
- 令和4年調査と比較すると、「親やきょうだい(兄弟・姉妹)などの家族と一緒に生活する」の割合が7.1ポイント減少しています。

回答者:185〔単数回答〕

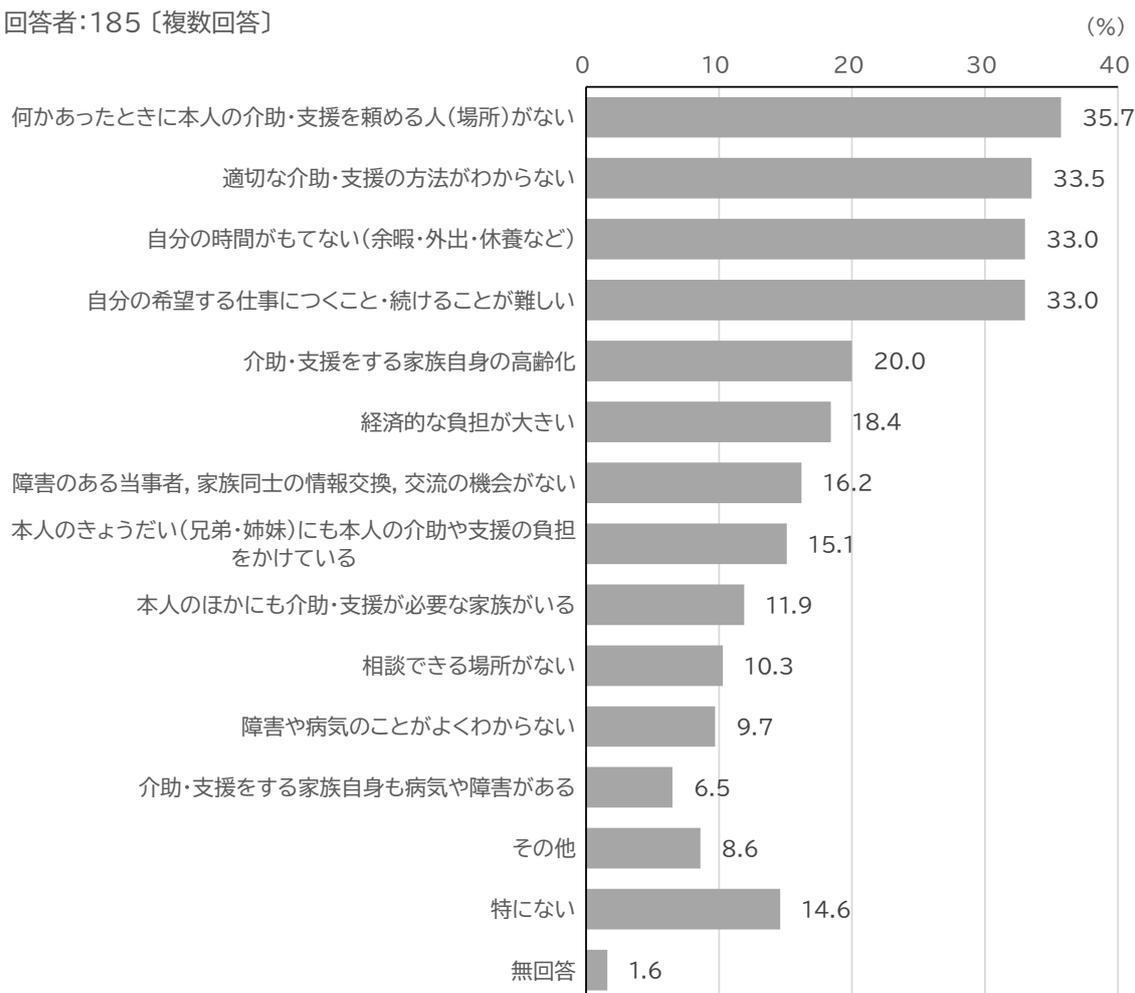


3 保護者の方に、相談支援についておたずねします

問 21 あなた（保護者）は、介助や支援にあたってどのような不安や困りごとがありますか。（いくつでも○）

○ 介助や支援の不安や困りごとは、「何かあったときに本人の介助・支援を頼める人（場所）がない（35.7%）」が最も多く、「適切な介助・支援の方法がわからない（33.5%）」、「自分の時間がもてない（余暇・外出・休養など）（33.0%）」、「自分の希望する仕事につくこと・続けることが難しい（33.0%）」が続いている。

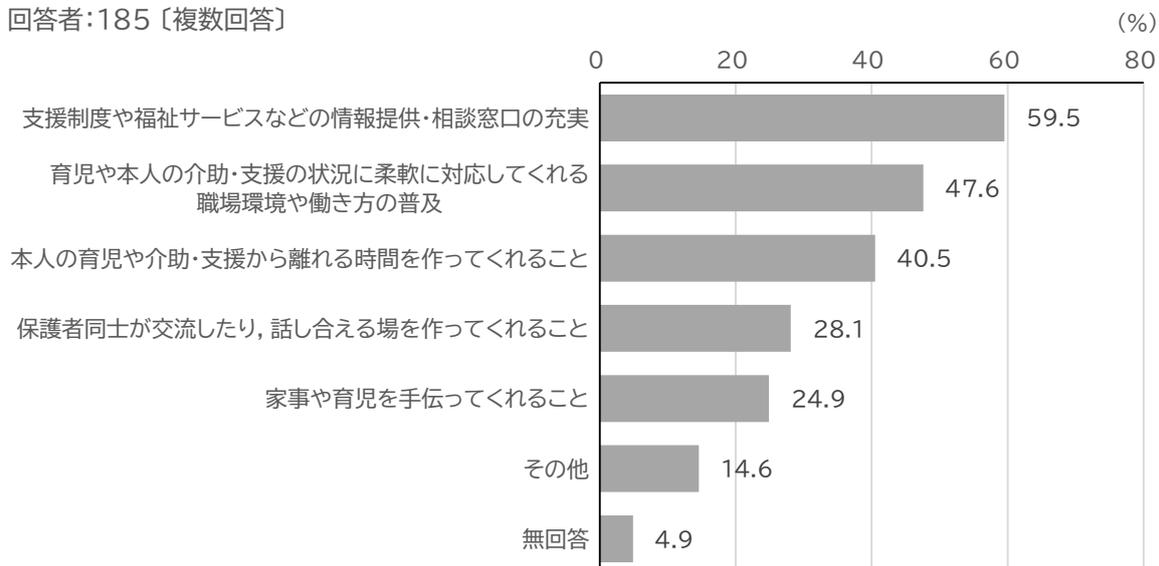
回答者:185〔複数回答〕



問 23 保護者への支援として力を入れてほしいことは何ですか。（いくつでも○）

- 保護者への支援として力を入れてほしいことは、「支援制度や福祉サービスなどの情報提供・相談窓口の充実（59.5%）」が最も多く、「育児や本人の介助・支援の状況に柔軟に対応してくれる職場環境や働き方の普及（47.6%）」，「本人の育児や介助・支援から離れる時間を作ってくれること（40.5%）」が続いている。

回答者:185〔複数回答〕

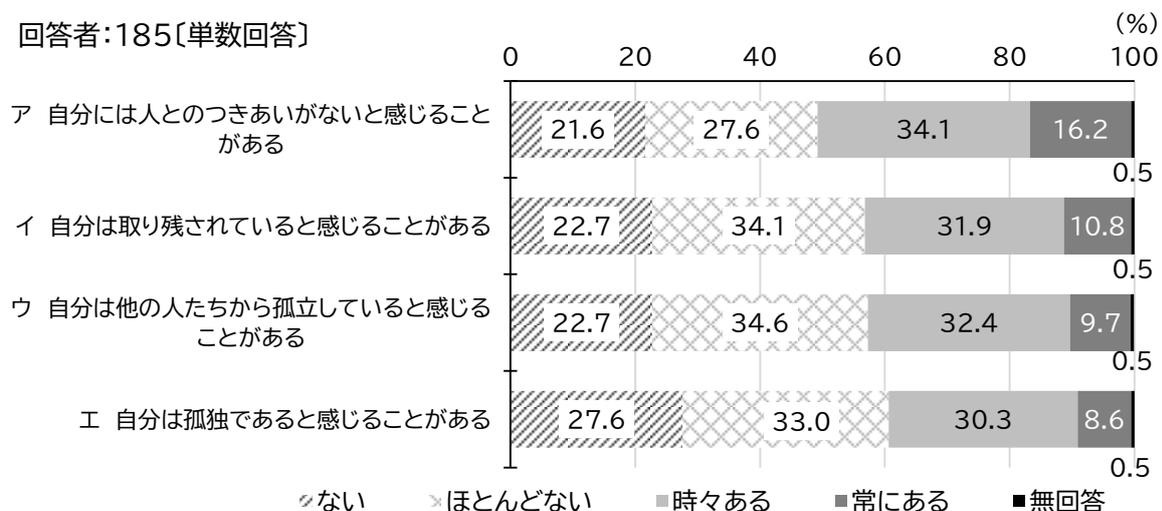


4 保護者の方に，市民同士の支え合いについておたずねします

問 24 次の項目についてあなたはどれくらいの頻度で感じていますか。（それぞれ1つに○）

- 孤独・孤立を感じること（「時々ある」と「常にある」の合計）は、「自分には人とのつきあいが無いと感じることがある（50.3%）」が最も多く，その他の項目は約4割となっている。

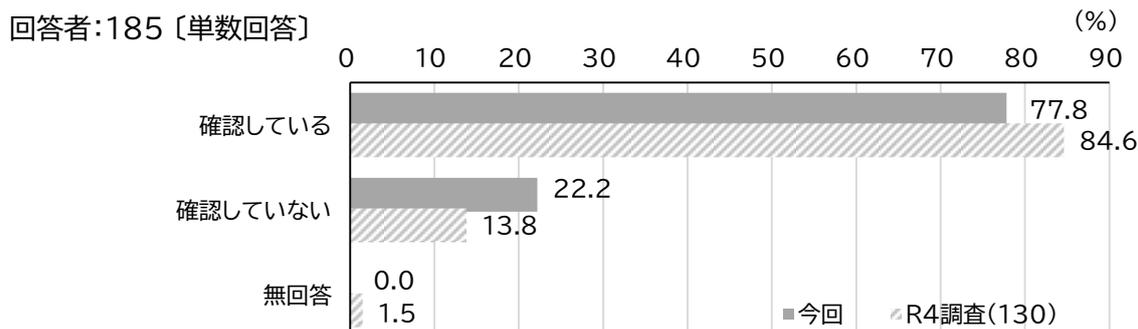
回答者:185〔単数回答〕



5 保護者の方に、災害時の対策についておたずねします

問 26 あなた（保護者）は、防災マップや洪水ハザードマップなどで避難場所・避難経路・警戒区域などを確認していますか。（1つに○）

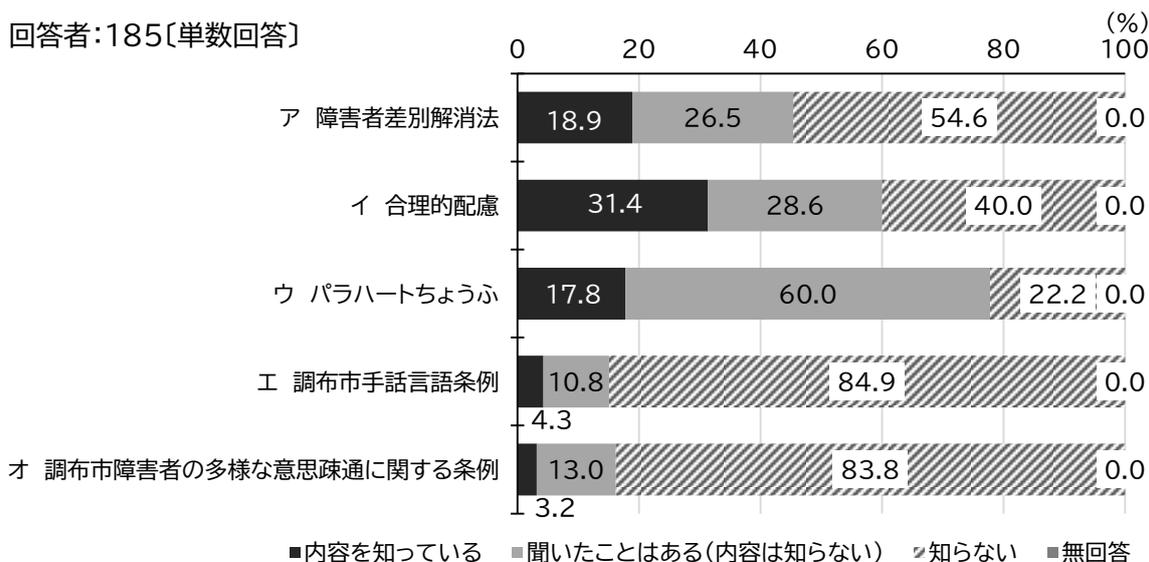
- 保護者が避難場所・避難経路・警戒区域などを確認しているかは、「確認している（77.8%）」、「確認していない（22.2%）」である。
- 令和4年調査と比較すると、「確認している」の割合が6.8ポイント減少し、「確認していない」の割合が8.4ポイント増加しています。



6 保護者の方に、誰もが暮らしやすいまちづくりについておたずねします

問 29 共生社会の充実のための法律や考え方、調布市が令和6年度に制定した2つの条例を知っていますか。（それぞれ1つに○）

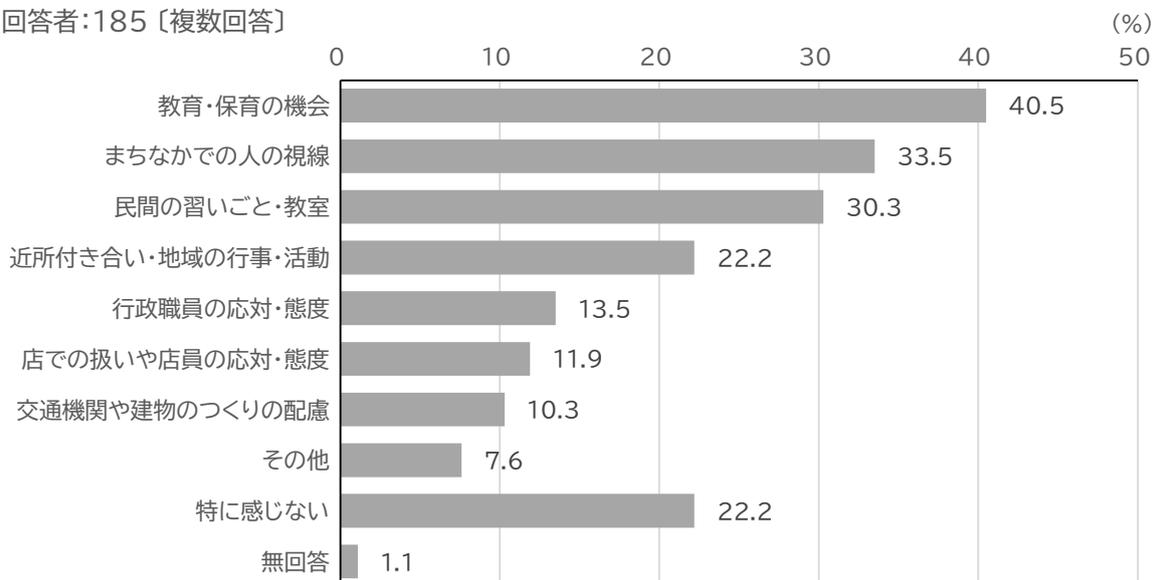
- 令和6年度に制定した2つの条例の認知度は、いずれも「知らない」が8割を超えている。



問 33 あなた（保護者）は、お子さんが生活する中で、障害や病気への差別や偏見、配慮のなさを感じることはありませんか。（いくつでも○）

○ お子さんが生活する中で、障害や病気への差別や偏見、配慮のなさを感じることは、「教育・保育の機会（40.5%）」が最も多く、「まちなかでの人の視線（33.5%）」、「民間の習いごと・教室（30.3%）」が続いている。

回答者:185〔複数回答〕

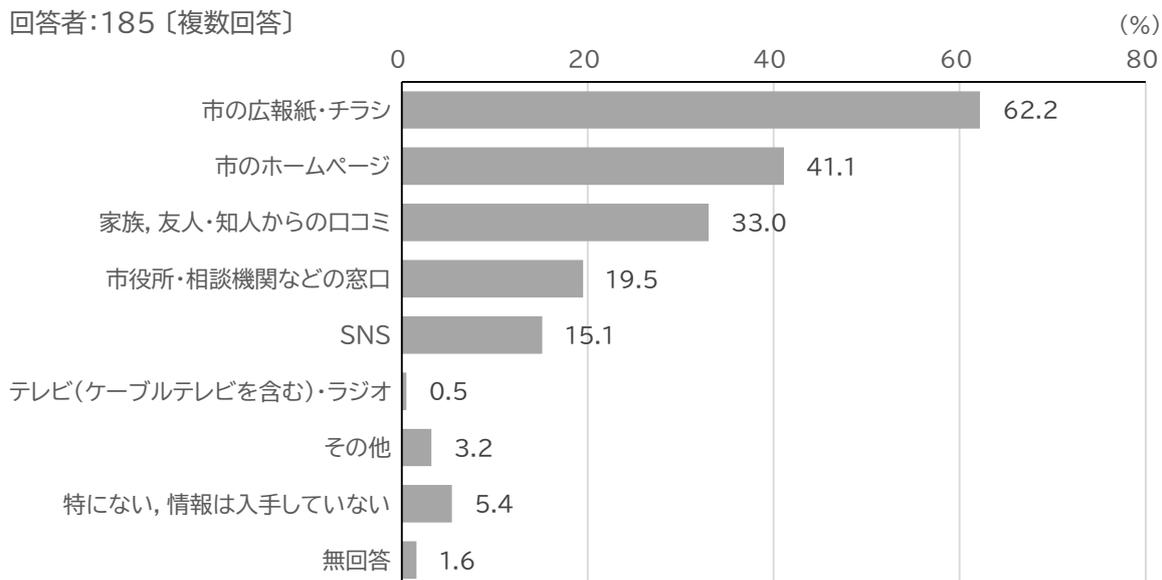


7 保護者の方に、デジタルの活用についておたずねします

問 36 あなた（保護者）は、調布市の保健福祉施策（サービス）に関する情報をどこから入手していますか。（いくつでも○）

○ 保健福祉施策（サービス）の情報入手先は、「市の広報紙・チラシ（62.2%）」が最も多く、「市ホームページ（41.1%）」、「家族、友人・知人からの口コミ（33.0%）」が続いている。

回答者:185〔複数回答〕

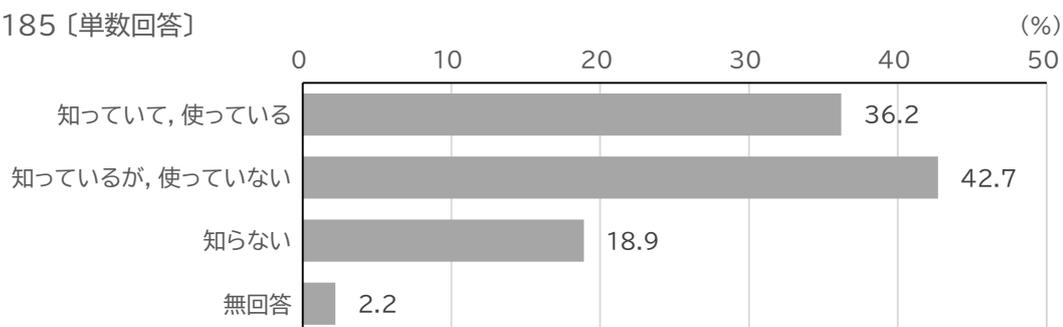


8 保護者の方に、調布市の障害者福祉施策についておたずねします

問 38 あなた（保護者）は、調布市が個別配布している「i（あい）-ファイル」をご存知ですか。（1つに○）

- 「i（あい）-ファイル」の利用状況は、「知っていて、使っている（36.2%）」、「知っているが、使っていない（42.7%）」、「知らない（18.9%）」となっている。

回答者:185〔単数回答〕



問 40 調布市の障害児福祉施策（サービス）をより充実していくために、あなた（保護者）が特に重要と考える取組は何ですか。（いくつでも○）

○ 特に重要と考える障害児福祉施策（サービス）は、「放課後などの活動場所（放課後等デイサービスなど）の整備（67.0%）」が最も多く、「発達に関する相談や療育の充実（64.3%）」、「困ったことや福祉サービスの利用などを気軽に相談できる窓口（62.2%）」が続いている。

回答者:185〔複数回答〕

